

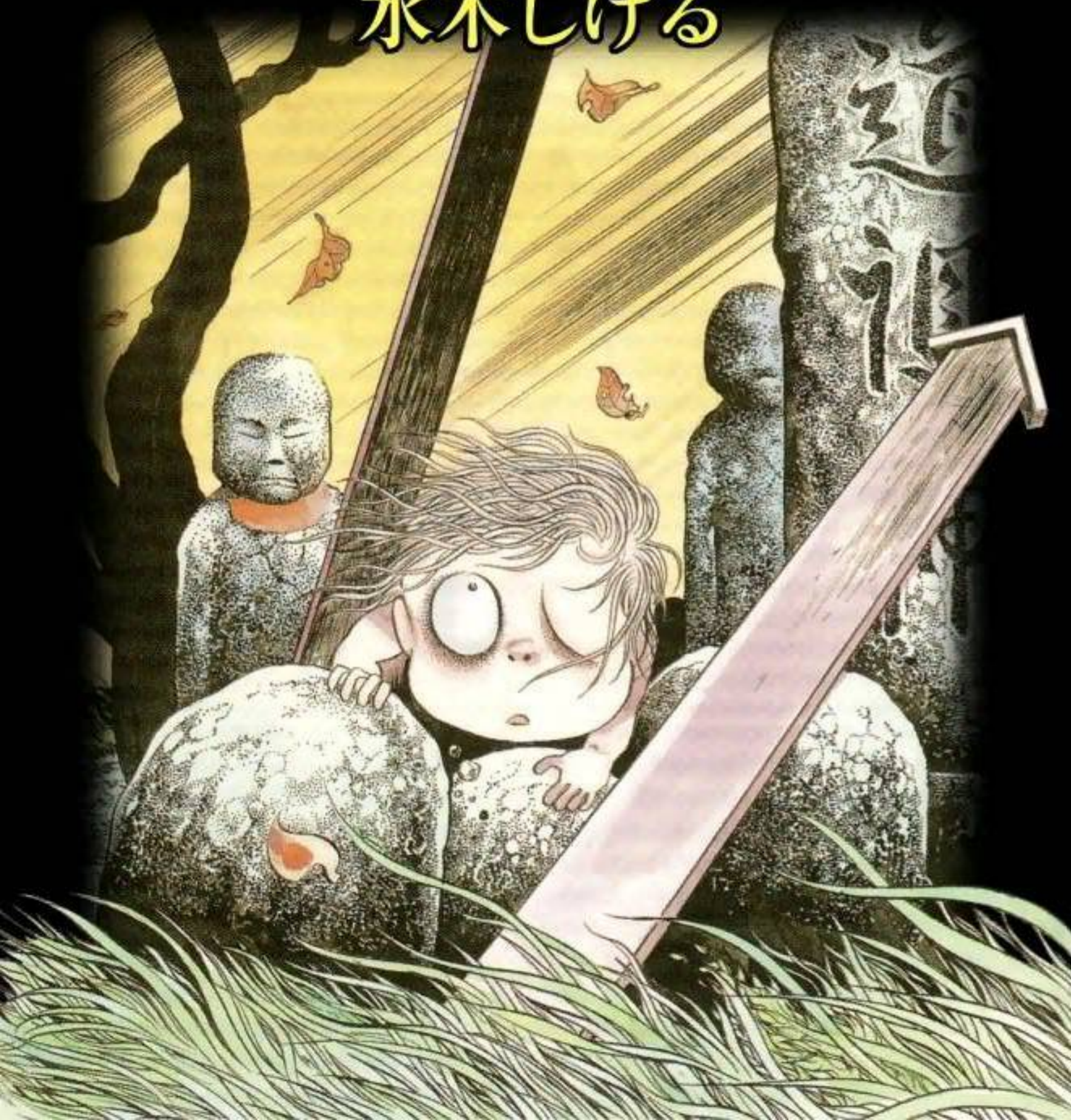
完全復元版

Digital World
KITARO 1

鬼太郎大全集

鬼太郎の誕生・鬼太郎夜話①

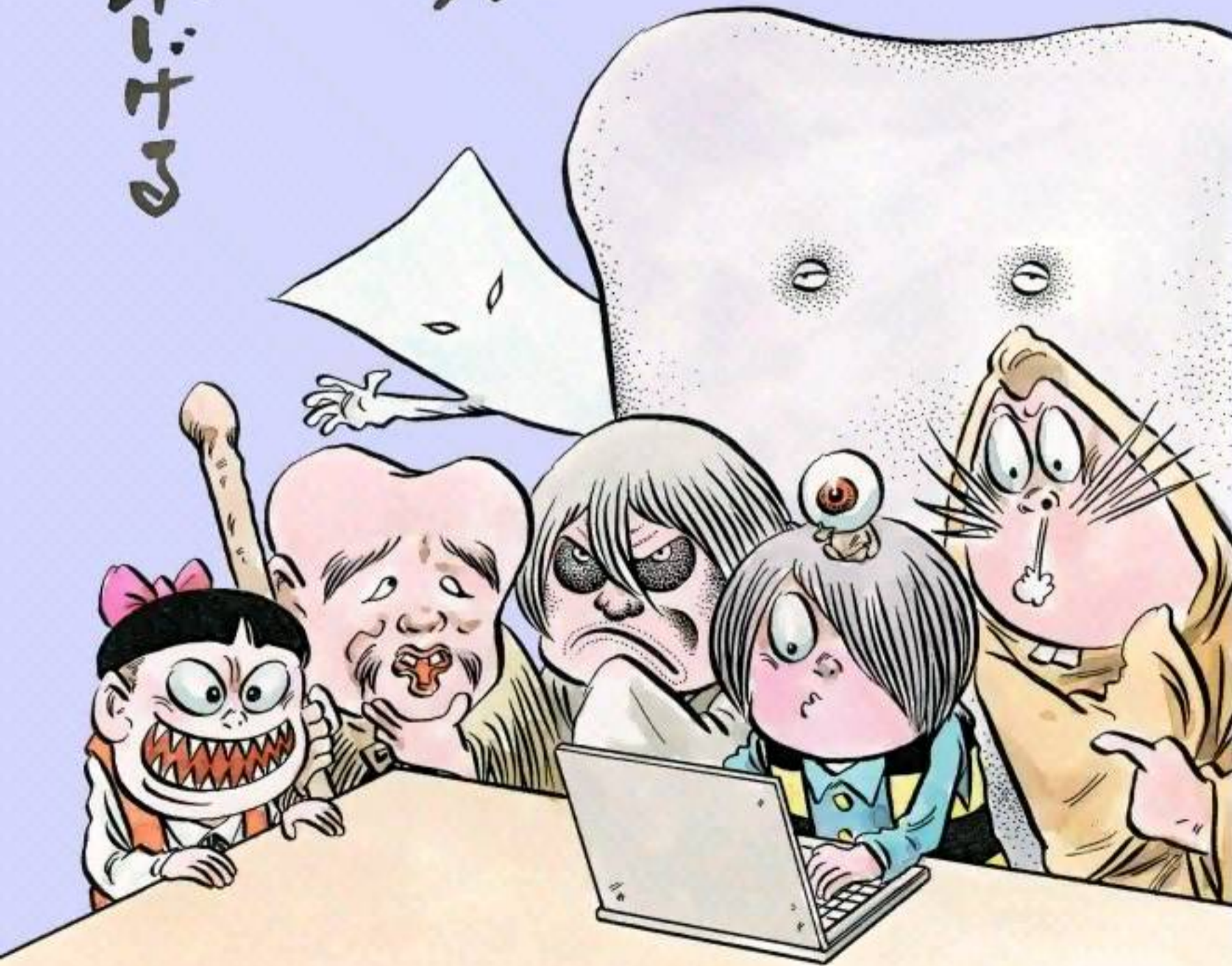
水木しげる



鬼太郎

大全集

水木しげる



監修・編集

水木フ口

平林重雄（関東水木会）

完全復元版

鬼太郎大全集

1

鬼太郎の誕生・鬼太郎夜話①

もくじ

鬼太郎の誕生	—————	5
鬼太郎夜話 第一回	—————	60
鬼太郎夜話 第二回	—————	71
鬼太郎夜話 第三回	—————	120
鬼太郎夜話 第四回	—————	158
鬼太郎夜話 第五回	—————	187
解説 刊行にあたって 平林重雄	—————	204
巻末特別付録 鬼太郎夜話比較図録	—————	208



墓場の鬼太郎

水木しげる特集



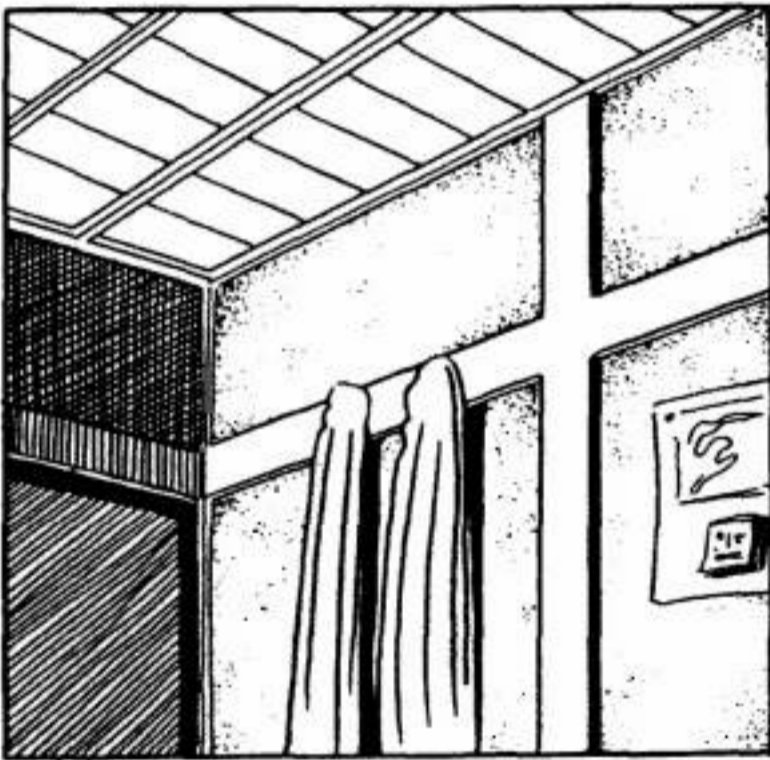
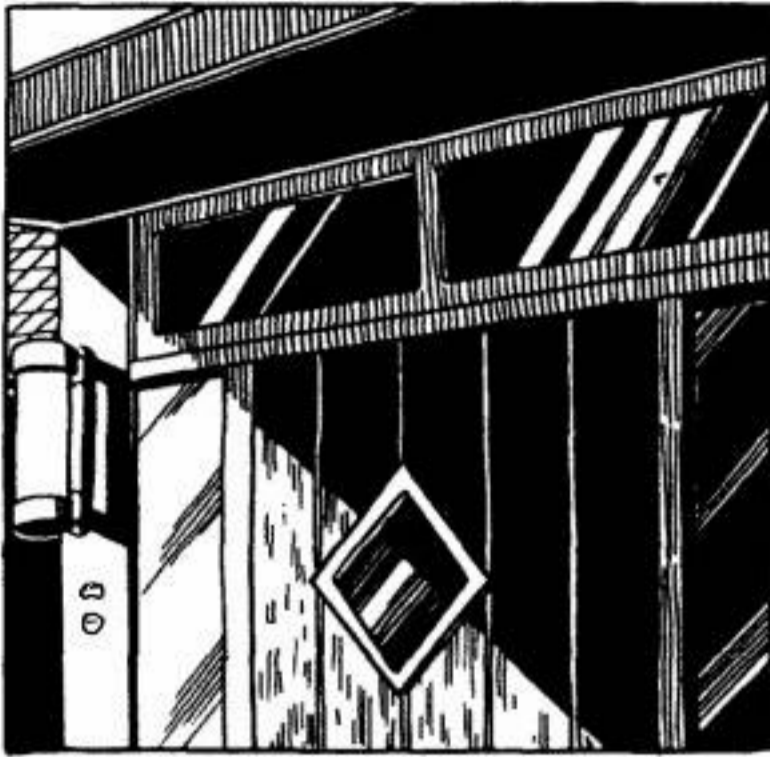
水木しげる 作
水木プロ制作



生誕の歌 郎

—きたろうのたんじょう—





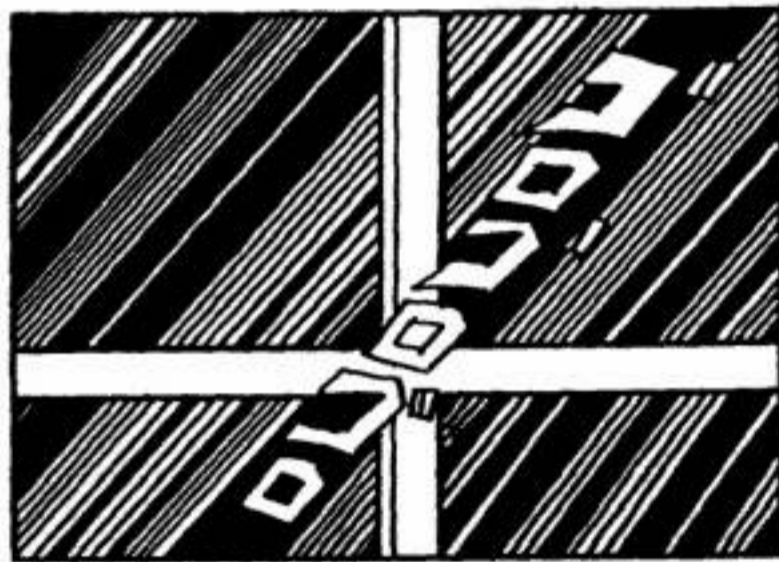
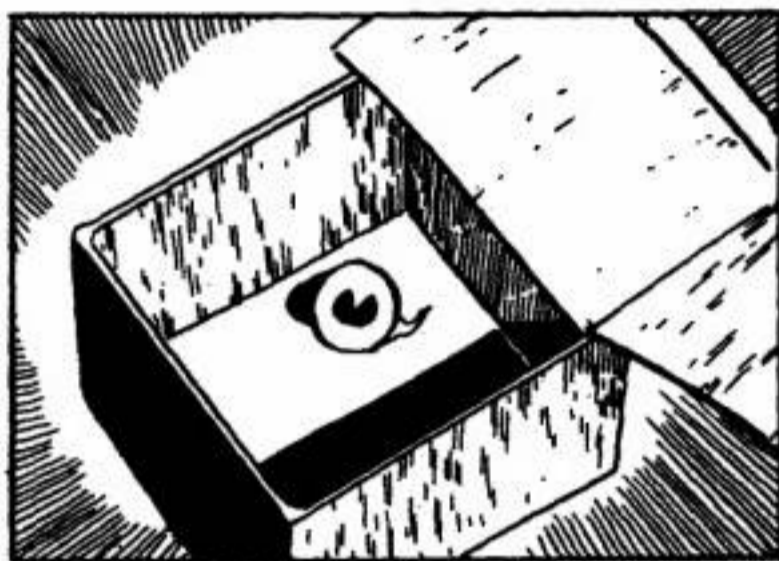
ある夜の
ことだった……

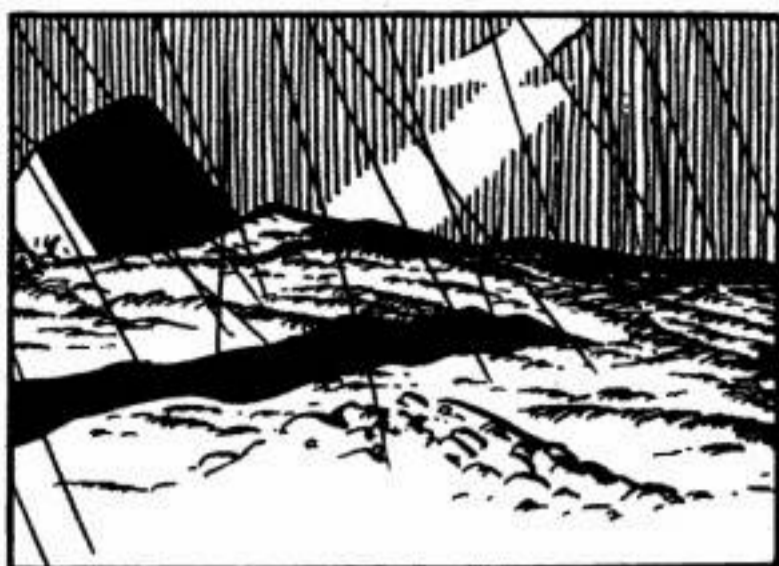


はぼこ
: んん

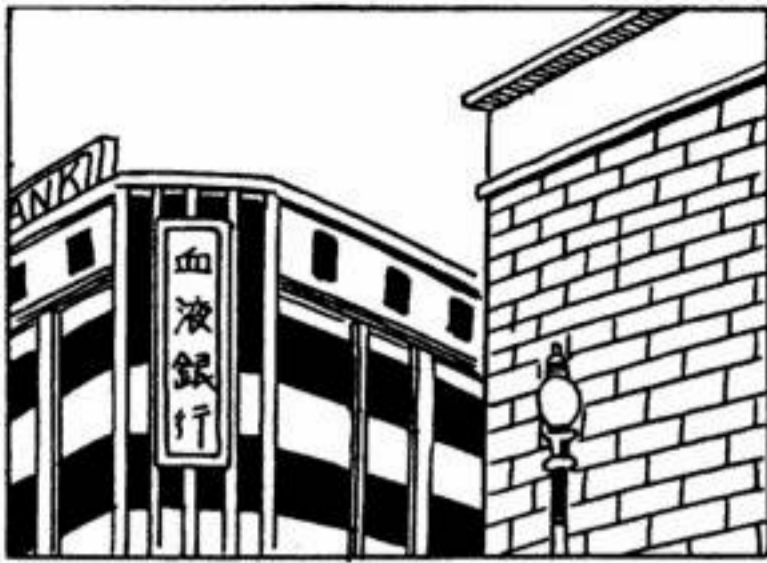














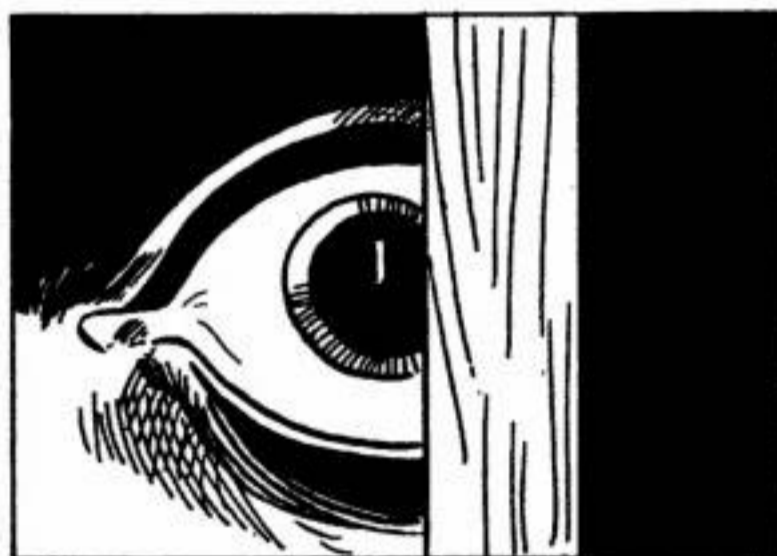










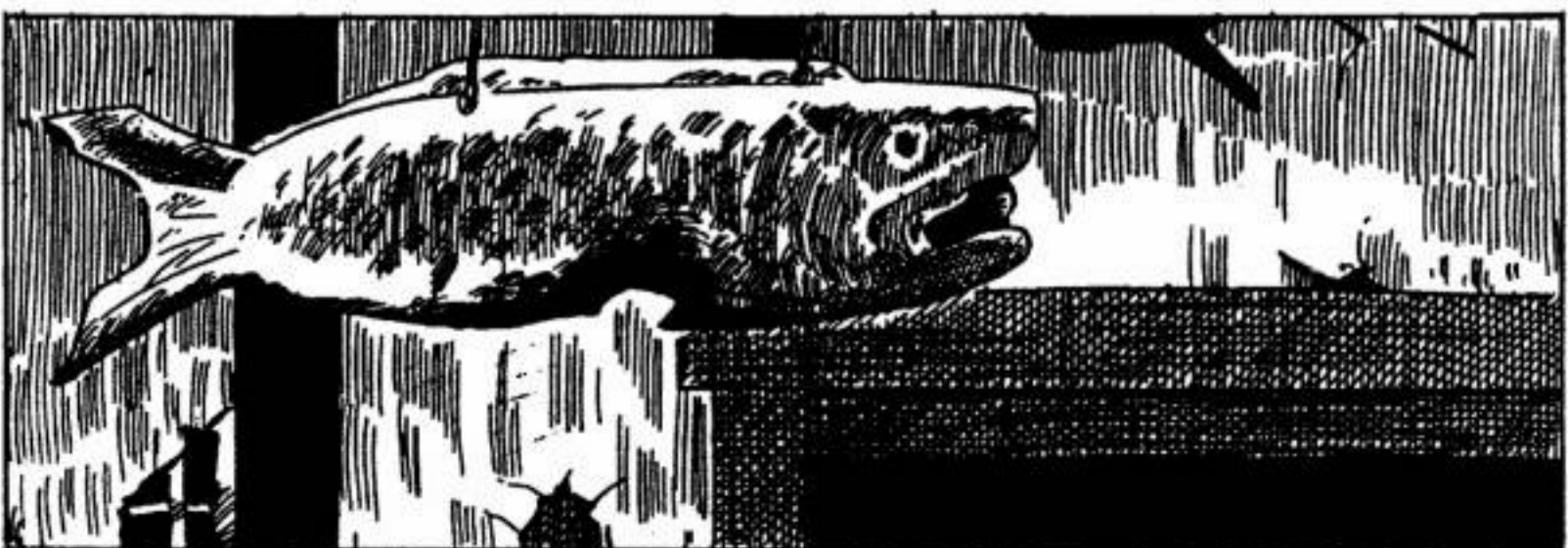


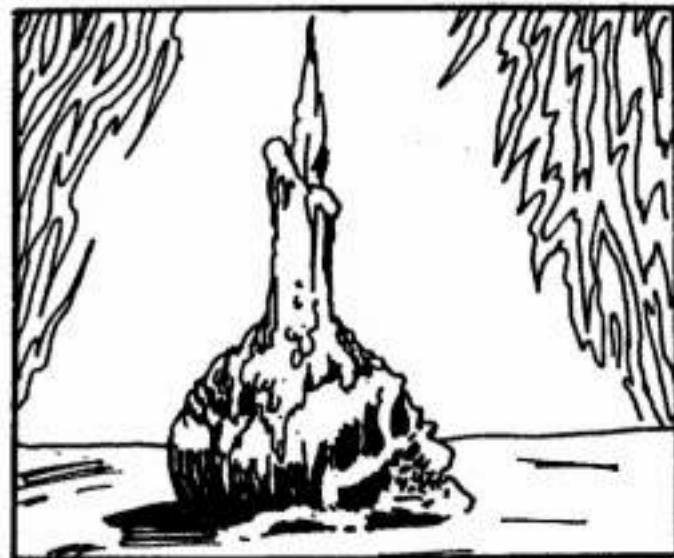
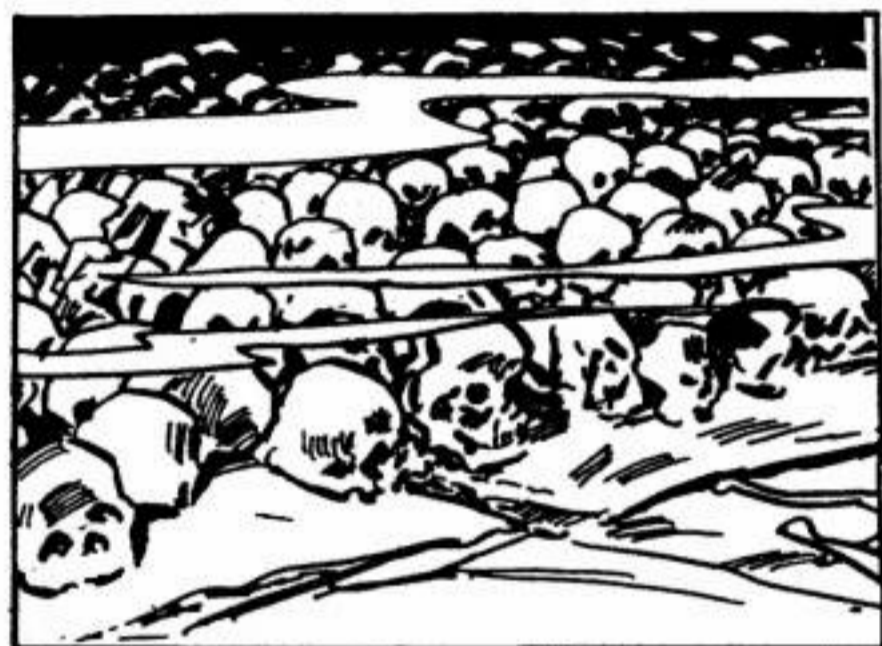


よし
外へでて
あとを
つけて
みよう

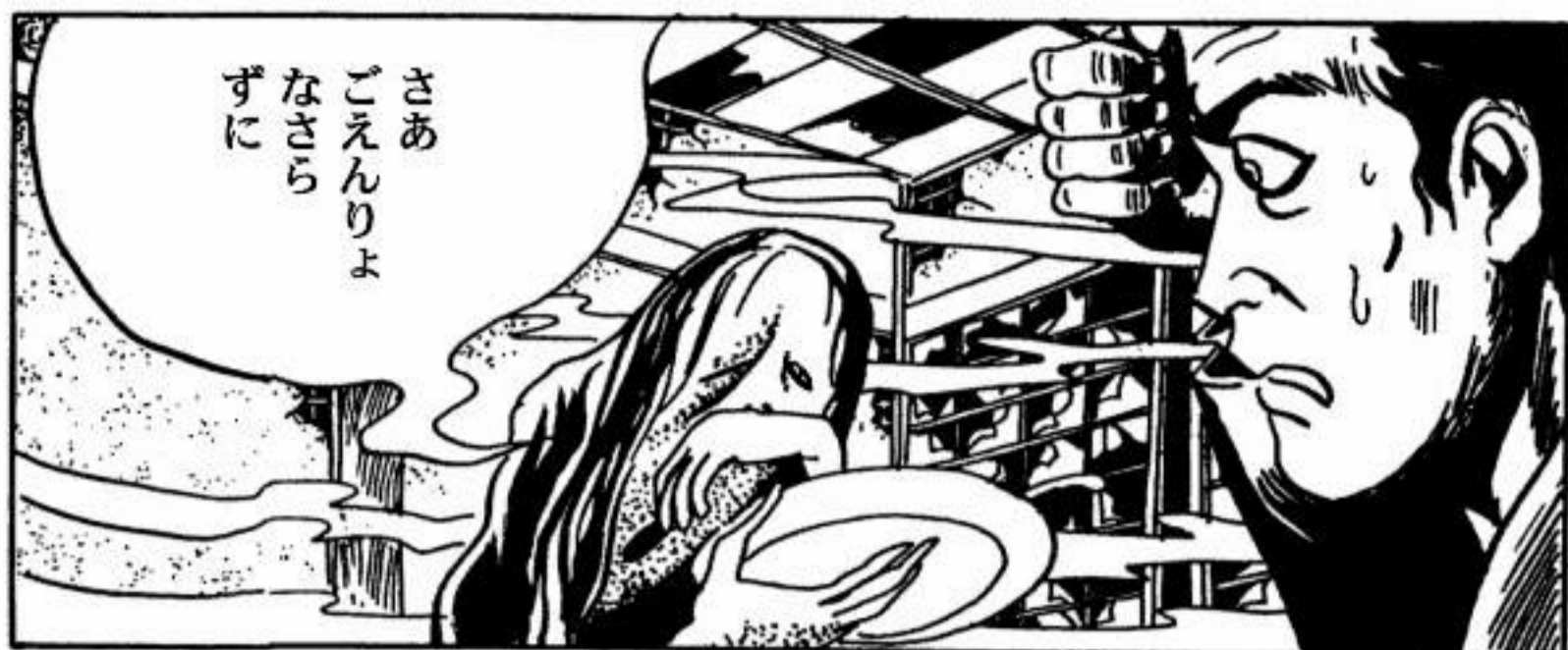
















きらわれてきた
われわれ哀れな
種族について
同情と理解を
して頂きたいの
です



幽霊と
いわれ

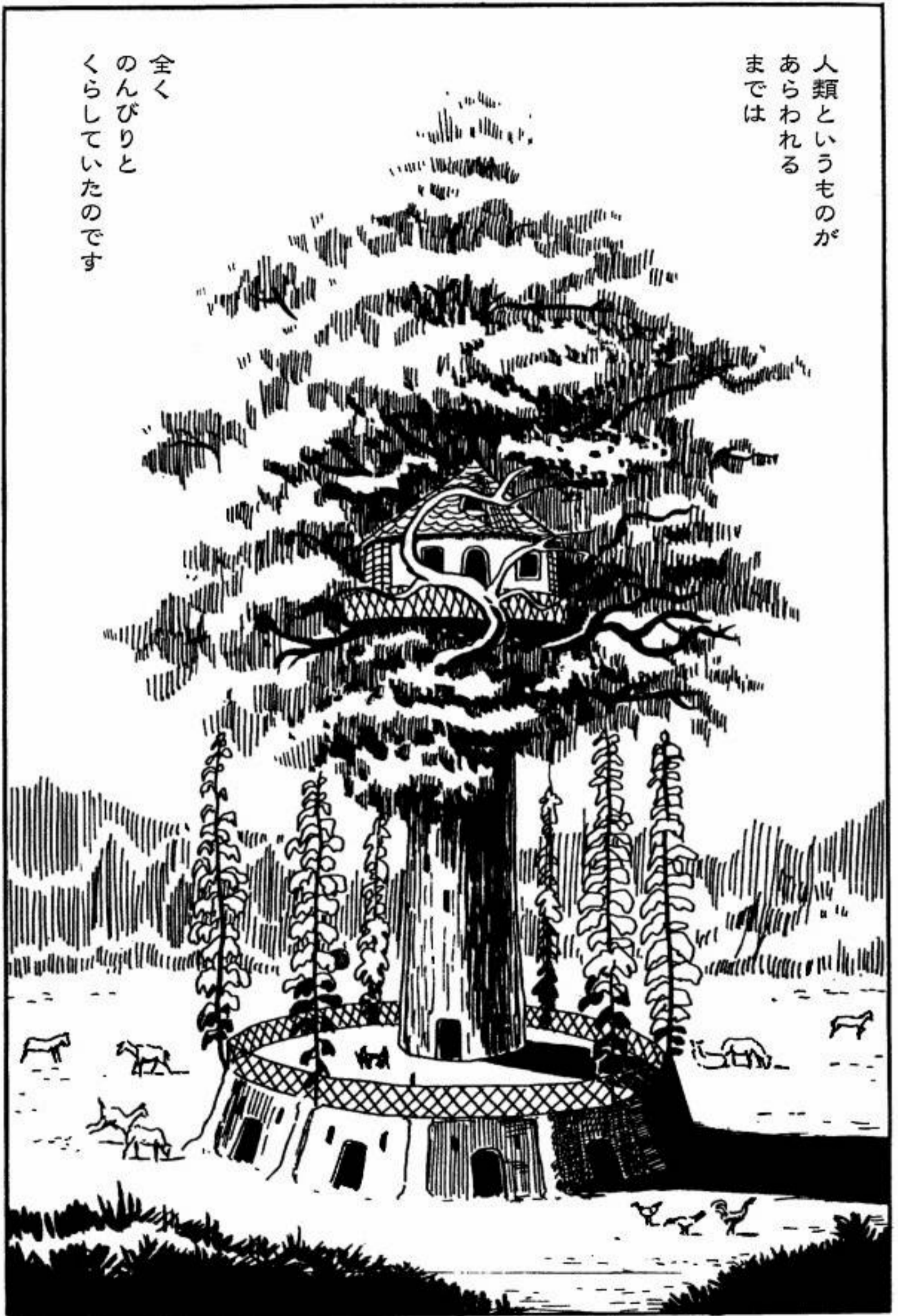


我々は
大昔
人間のいな
い時代から

この地球に
住んでい
たのです

人類というものが
あらわれる
までは

全く
のんびりと
くらしていたのです



我々の生活も
絶頂になった
ころでしようか
人間という
我々に似たも
のがどこから
ともなく
現れて





まるでネズミの
ようにふえて
地球上にひろがっ
て行ったのです

我々はだんだん
人間にあっぱく
され



きのうも
人間達に
三人も殺
された

狂暴な
人間をさけて
おとなしい
幽霊族は森に住んだ



千年
二千年と
時がたつに
従って

人間はます
ますふえて

この「幽霊の森」も
平和ではなくなってきた



やがて
穴の中に
住むように
なった





おとなしい幽霊族は 安
全をもとめて 穴の奥へ
奥へと入って行った
そして 土の中でくらす
「人間モグラ」のように
なってしまう しみずだ
とかおけらを食べて我々
の祖先は……………



長い間
くらしで
いたので
すが……



だんだん
食物も少なく
なって
餓死するも
のがふえた
のです



そして……………
生きるために 人間の寝
静まった夜
オケラだとか 蛙を食べ
に穴から出たのです
昔の人は びっくりして
幽霊だと恐れていたのだ
すが近代になって 我々
の同族もすっかり少なく
なり 現在ではこのたつ
た二人の夫婦だけになっ
てしまったのです











彼等は



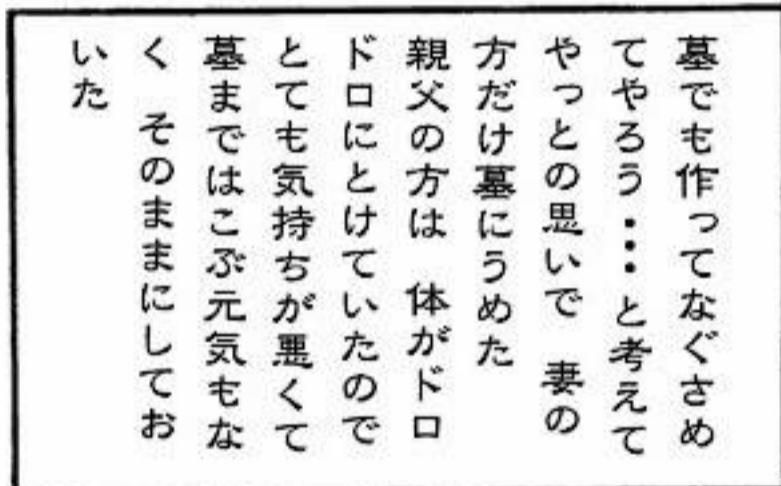


やがて、く月とく月の
月日が夢のまのま
過ぎた.....



だろうか

どうなっ
た









この子は
化物の子だ
この子を生
かして
おいては



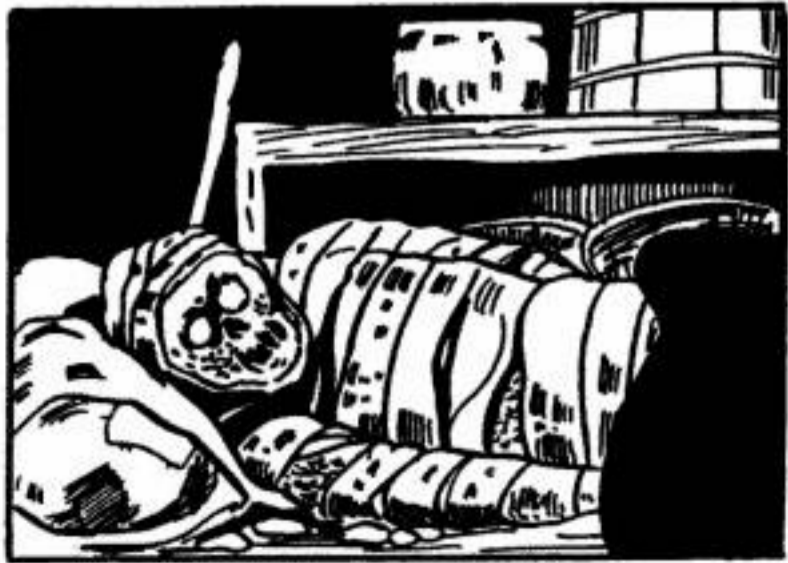
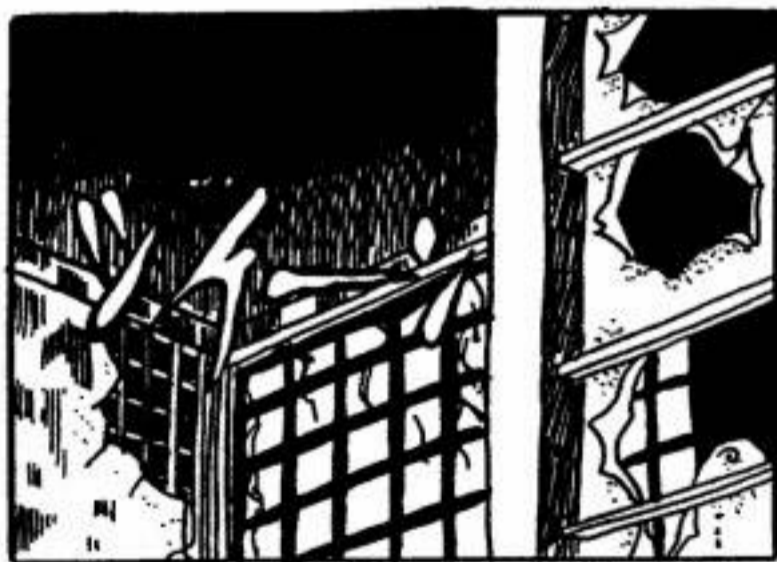
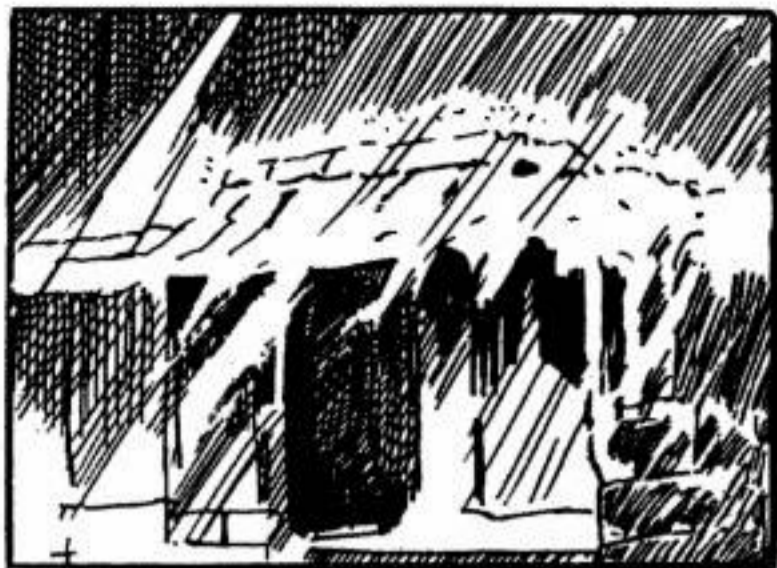
どんな
わざわい
が起る
か分ら
ない
……



逃げ
よう

だが
僕には
ころせ
ない





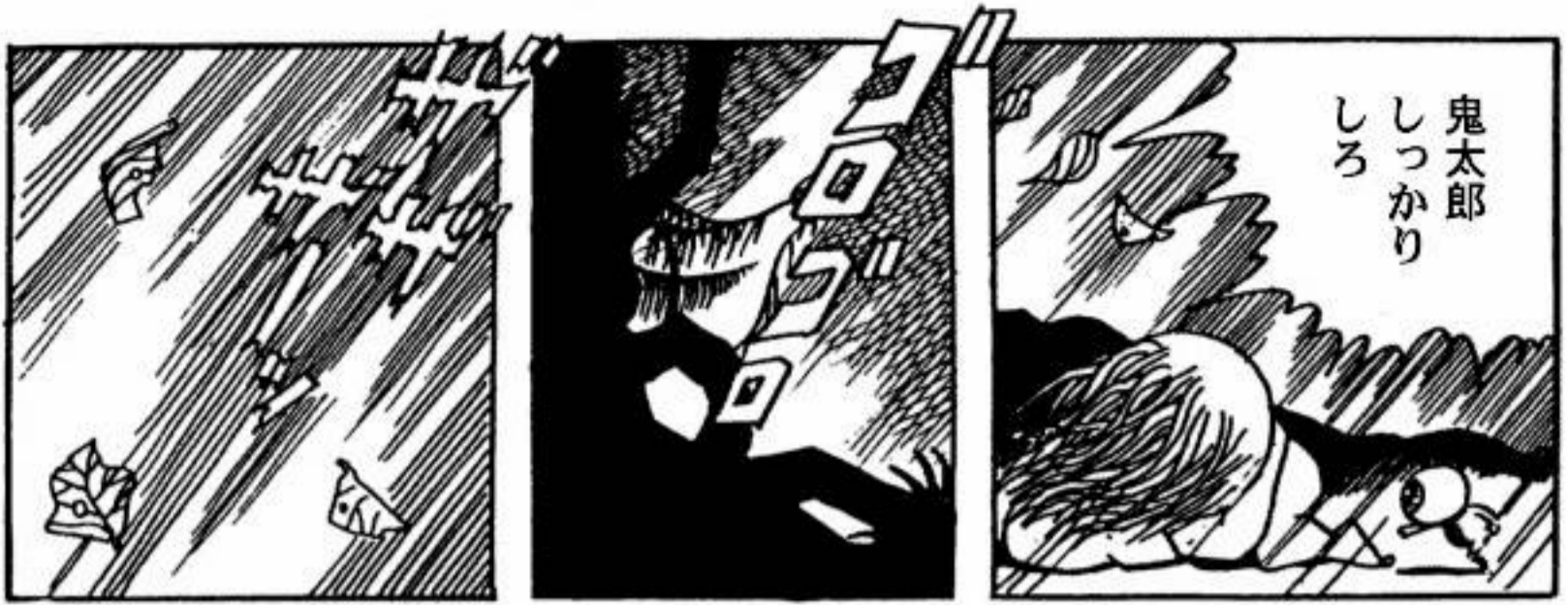


なんとという怪異かいな事だろう
どろどろと流れ出た目玉が
生きていようとは……………
この幽霊族は 何か人間に
理解し難い 怪異な性質を
そなえているのだろうか……



トカゲのしっぽが切れてもまた
生える あの不思議な生命力
に似たものを この幽霊族は
もっているのであろう
或は自分の種族を最後まで守
ろうとする 親の執念せつごんがこり
かたまったのであろうか……
とにかく目玉は事実 生きて
いる！

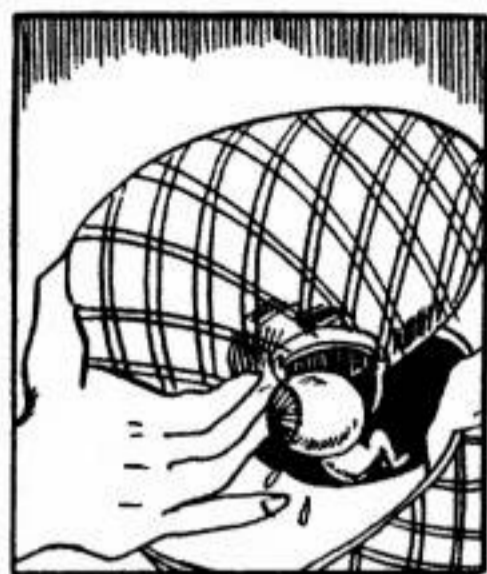


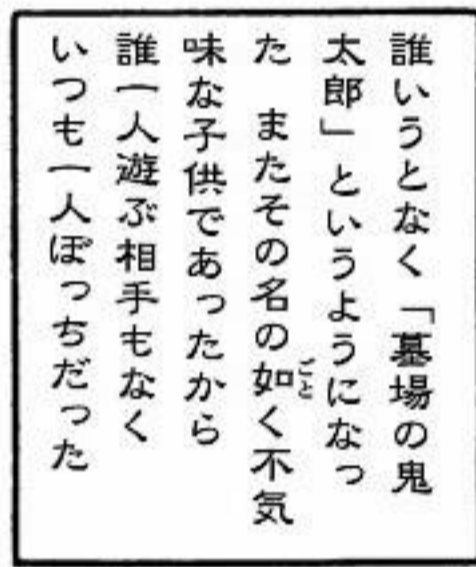
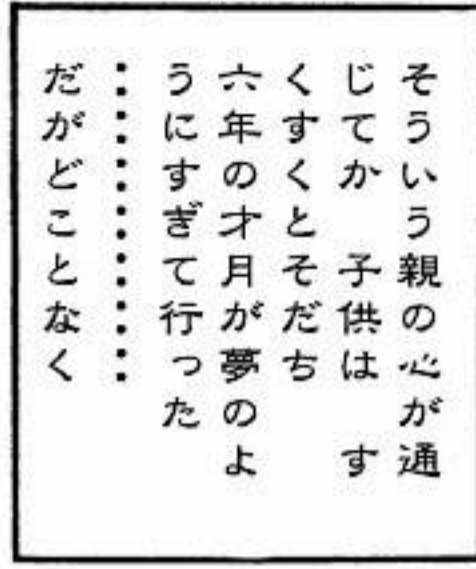




















消え
たのかな



雨だ



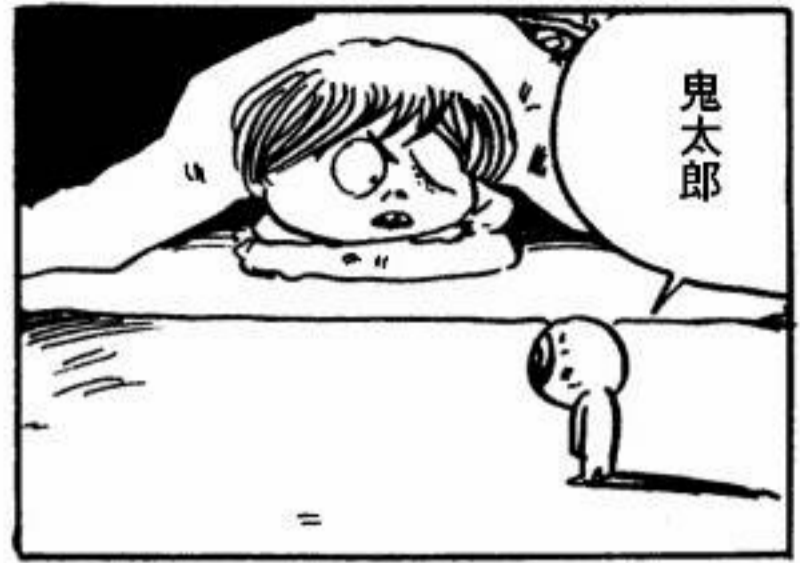
全然みつ
かりま
せんよ



どうだ
ったい？











鬼太郎
夜郎
夜郎
夜郎

第1回





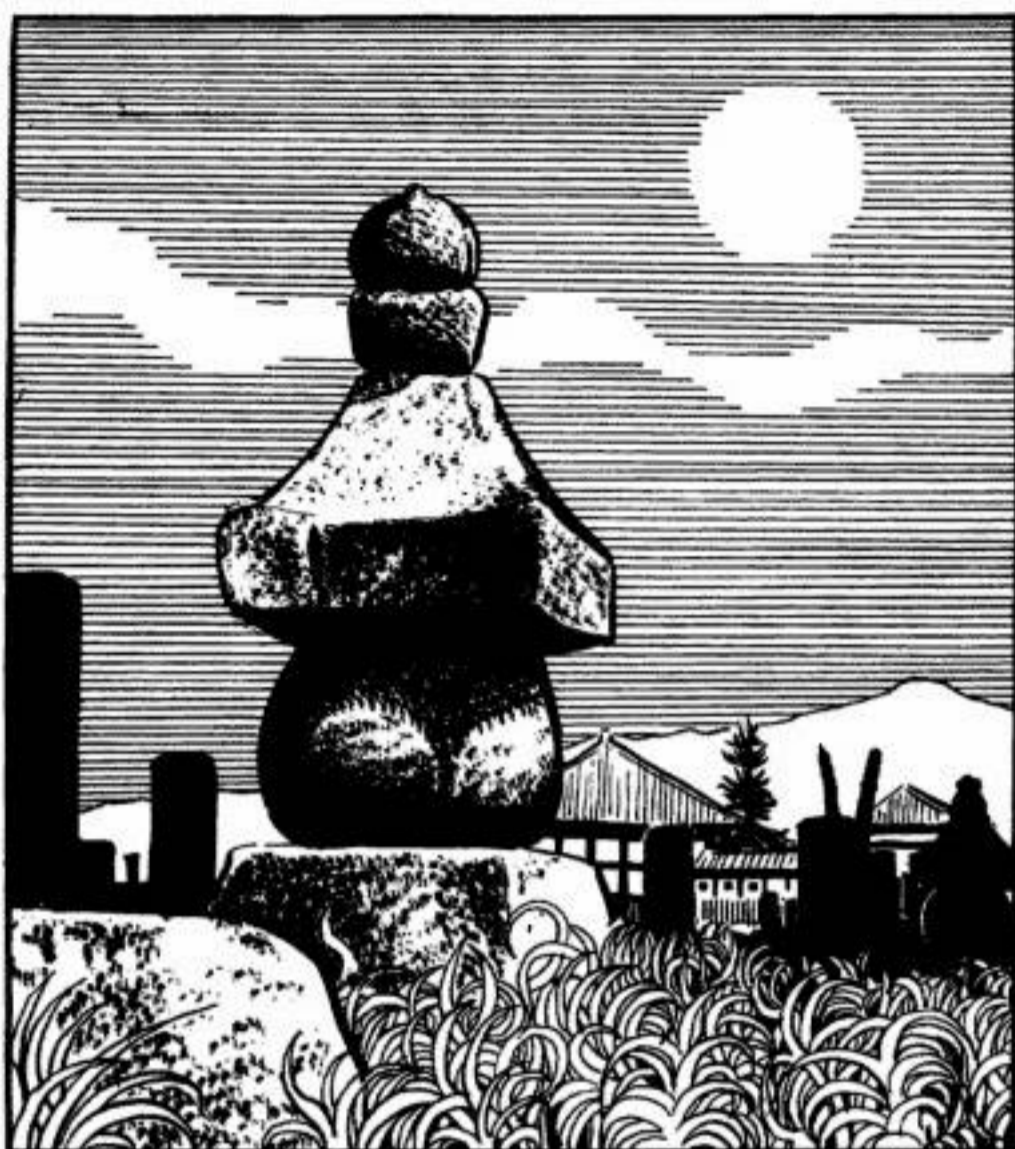
昭和六年
いまから
三十八年前
...



あそこ
でも
ない



ここでも
ない



そういつて
三十年間
……
……
……
あるものを
探し
求めている
人がいた



理学博士
ありまほん
有馬凡と
いう
……
……



わしの
名は



そう……
わしが
若いころ
牛鬼の研究に
はいつてから
ちようど
五十年に
なる

牛鬼の
墓さえ
見つかれば
……
……



あれから
三十年



学会に
発表した
とたんに
狂人あつかい
され……



生き返らせる
ことができると
……



一心に
牛鬼の墓を
たずね
歩いたが
……



わしは
……



いつ
倒れるやも
もしれない



わしも
もう
七十歳……





こんな
ところに
あろう
とは！



なんと
いう
皮肉な
ことだ



老人は最後の力を
ふりしぼって
牛鬼の墓を
掘りはじめた



動く
力もない



だが
わしには



もうからだは
半分死にかかって
いたが……
執念の力で
行動していた



こんどは
おびただしい
わしの頭がい
が出た



もう
すぐだ



やがて太古の
土器や貝がら
が出てきた



食物の
すくない
山中に
ただよっ
た……



その
おいが……
に
わしの
頭の

(むかしいわしの
頭は魔よけに使わ
れたのだ)



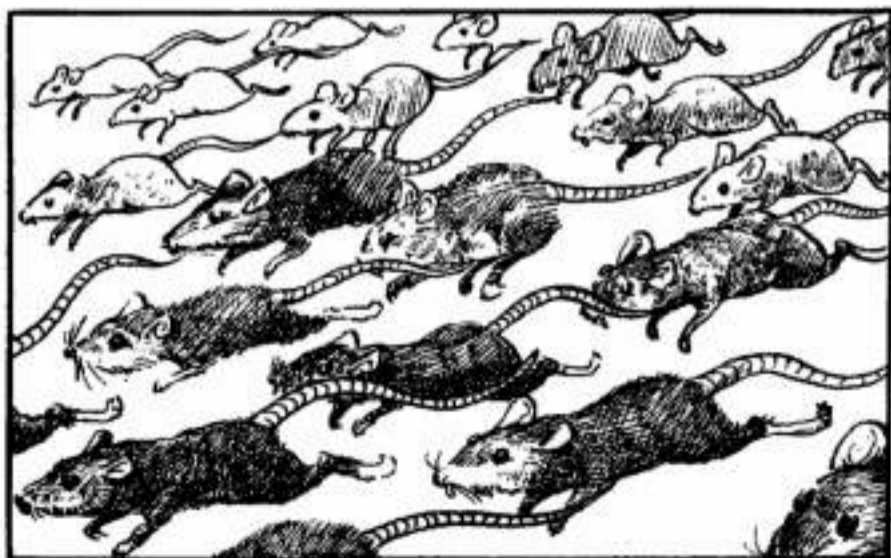
すると
……

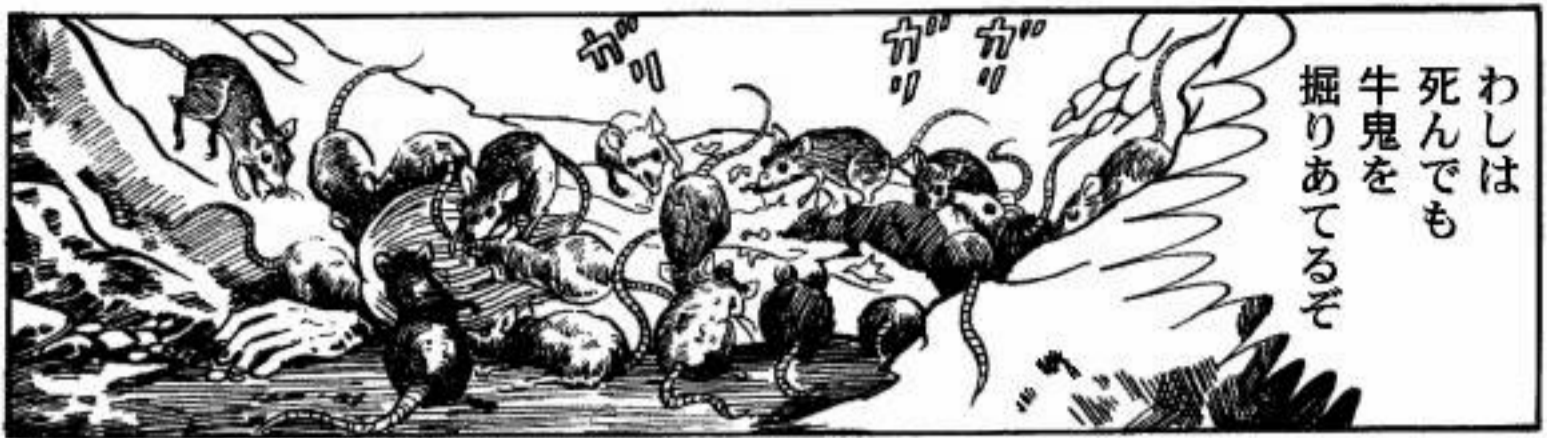


おいを
かぎつけて
野ねずみの
大群が
あらわれた



うわっ！

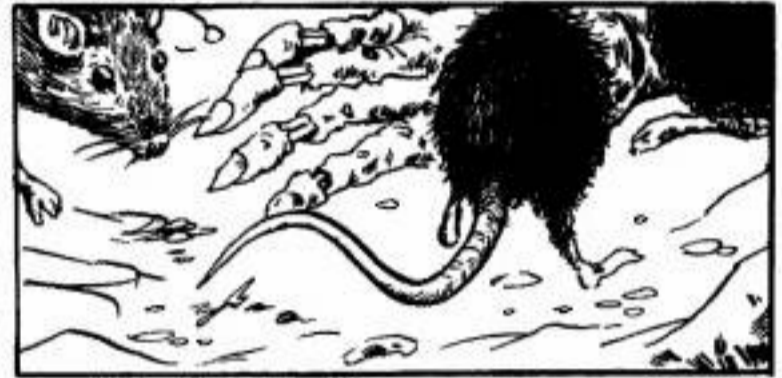




わしは
死んでも
牛鬼を
掘りあてるぞ



……
やっとな
とどいた



有馬博士は
飢えた
野ねずみの
大群に
かじられ
ながらも
必死に
なつて
あなを
掘つた



やがて 牛鬼の異様な
形があらわれ
博士は自分のからだを
牛鬼にかぶせると
息絶えてしまった
飢えた野ねずみは
形がないまでに
博士を食べた

同時に たくさんの血が
牛鬼の死骸の上に流れた



すると
一天にわかにかきくもり……



おびただしい
落雷とともに
大つぶの雨が
荒野をゆさぶった
博士の血は
雨にまじり
牛鬼の屍しかばねに
たっぷりと
吸い込まれていった
すると 千年の眠りの
ゆめをやぶって
牛鬼は生き返った





鬼太郎夜話

第2回

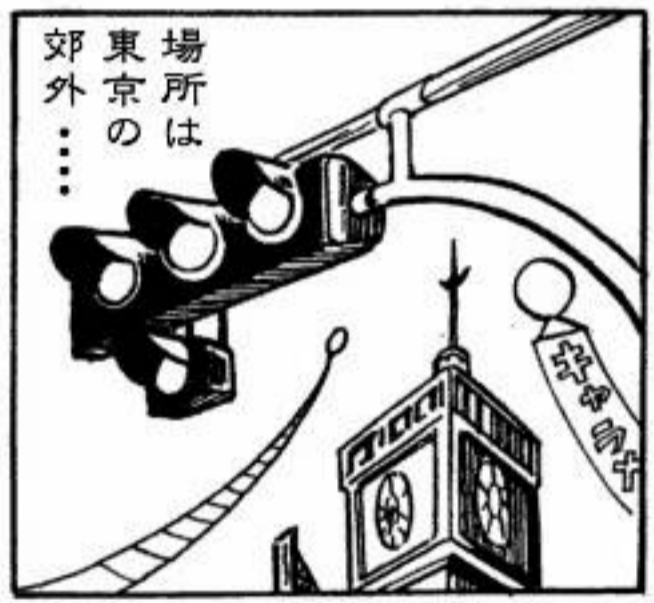


水木しげる

さて 話かわって
 東京……………
 この広い東京の
 空の下には
 さまざまな
 驚くべきことが
 あるが
 これほど驚くべき
 ことはないだろう
 それは墓場で
 生まれた幽霊の子が
 そしらぬ顔をして
 学校に行っている
 ということだ
 しかも誰一人
 それに気づいている
 人はいない
 ……………



調布市下石原
 というさびしい
 ところだ



場所
 東京の
 郊外……………

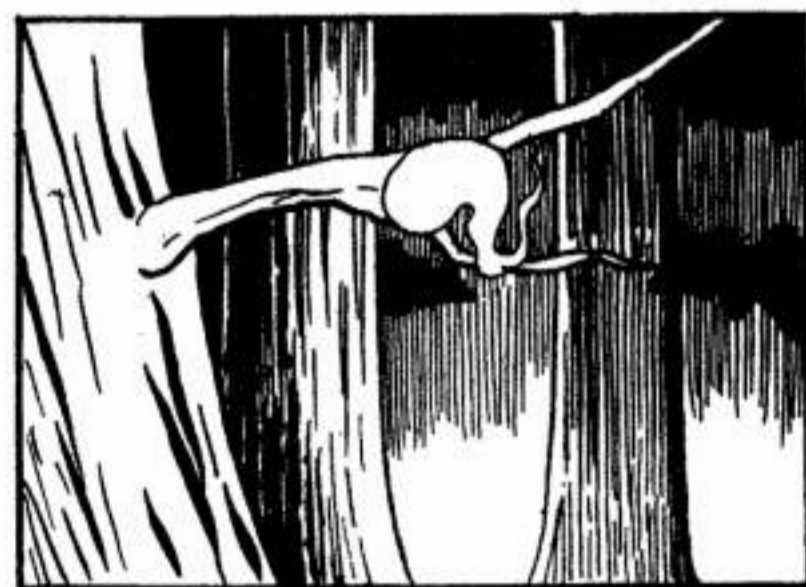


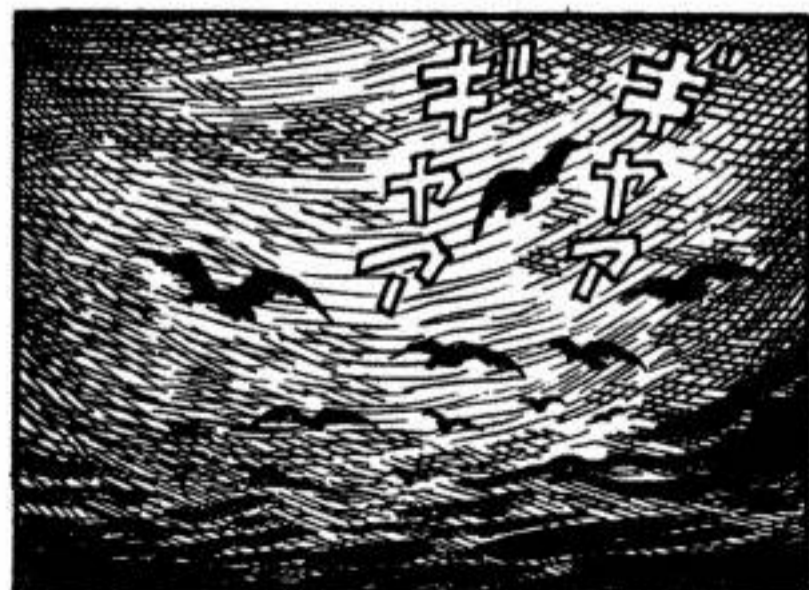
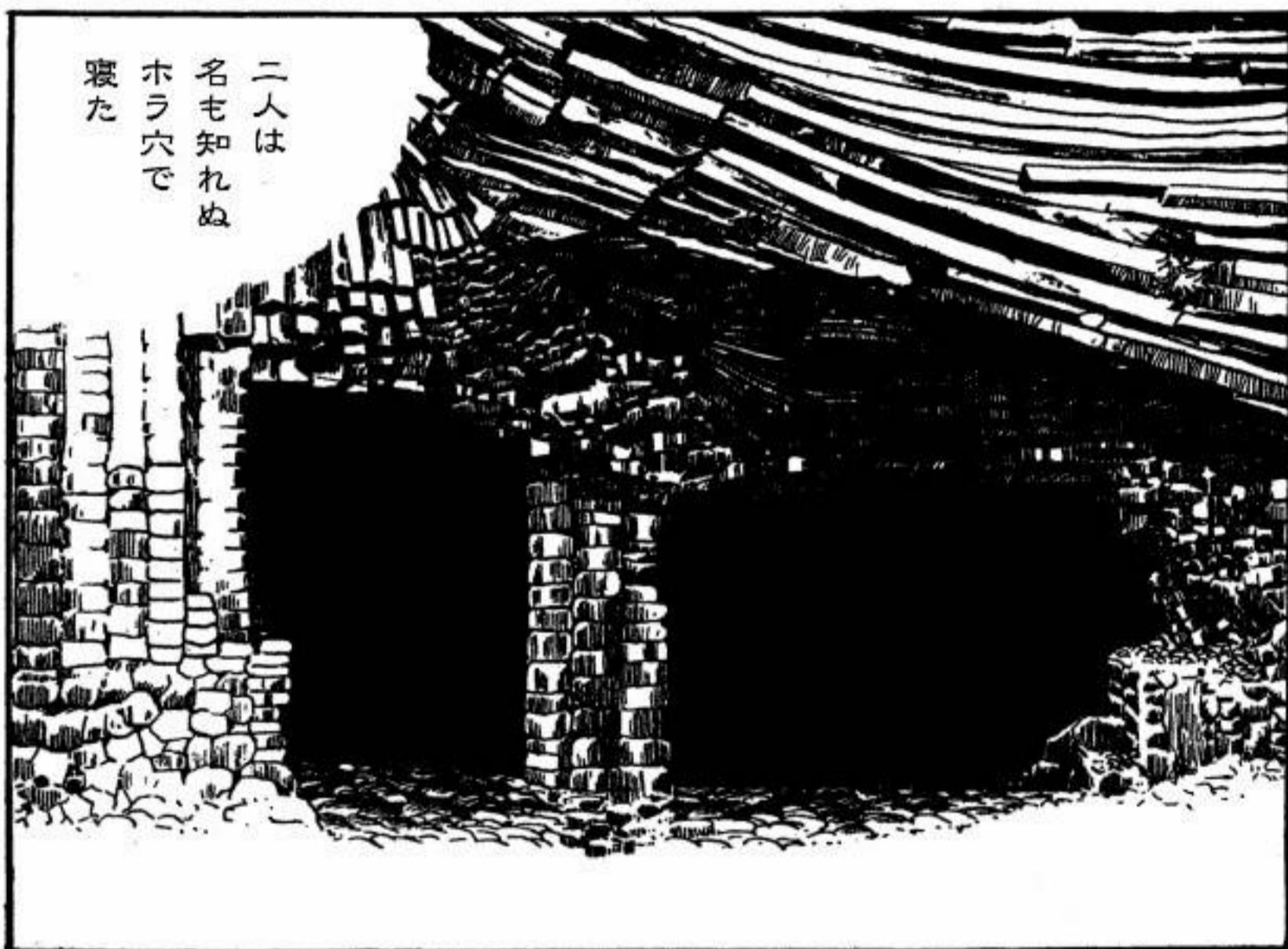


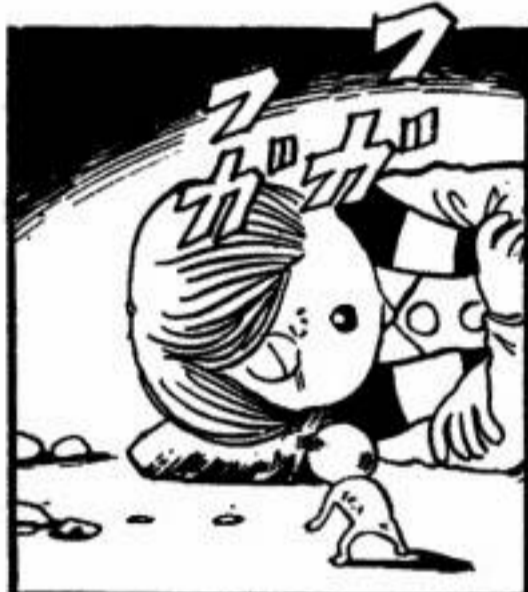














なん
だつて
: : :
穴の
: : :
中で



ふん
なる
: : :
ほど



幸い散歩中の
親切な大学
教授に事情を
話して
みてもらう
ことに
した



フガフガと
いうのか



病気
ではない

では
: : :
:



博士
一体
鬼太郎は
どんな病気
だ
: : : : :
:



: : :
: : :
: : :
: : :
: : :
:



鬼太郎君の
魂を抜き
取った
ようだ
: : : : :
:



何か靈魂の
ような
ものが
: : : : :
:

エエツ



魂？
タマシイ



魂を
取り返さねば
大変なことに
なりますぞ



早く
そいつを
見つけて



抜き
取られた
とすれば
抜き取った
奴がいる
はずだ



理学
博士
有馬



すると
この名刺は
なぜ
ここに
あるのだ？

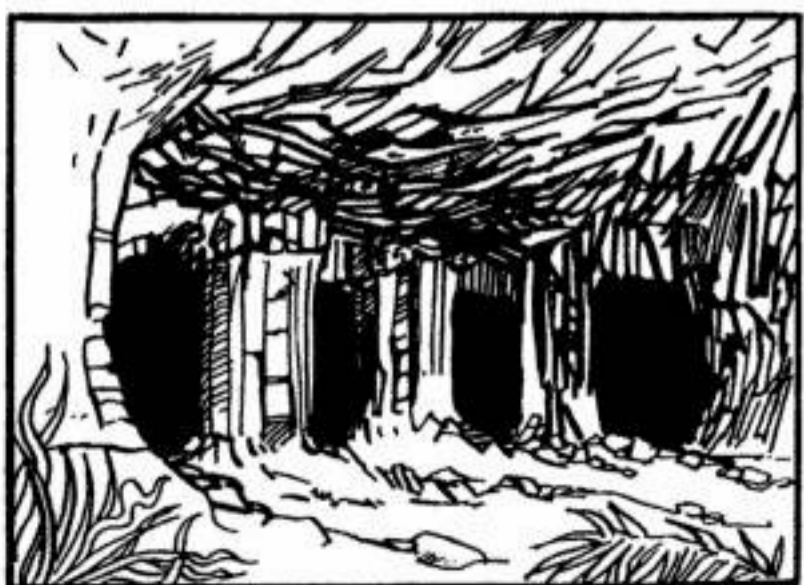


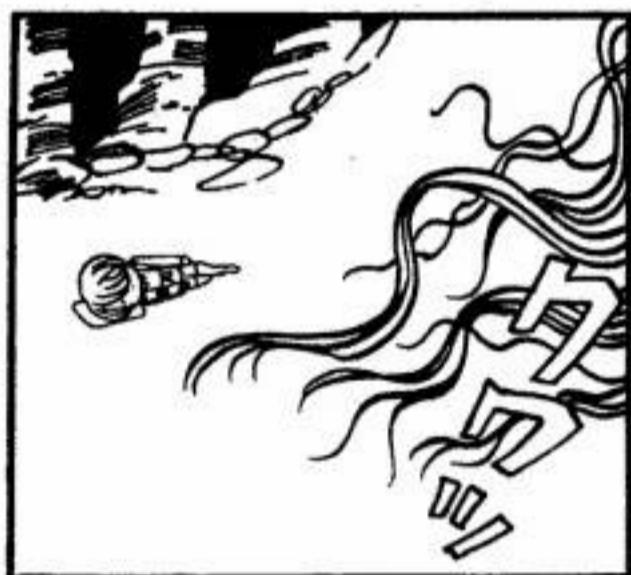
抜き取る
ためには
ここに入った
奴がいる



よし
名刺の住所
へ行けば
何かの
手がかりが
あるだろう







そのころ
穴の中でだらしなく
寝ている鬼太郎に
怪しい影が近づいた





それから
一か月の
月日が
流れた

ここは大阪……
今まで聞きなれない
バイオリンのような音の
する風が毎夜街を
吹いた



呪われた
ような
おそろしい
その音を
耳にした
ものは



夢遊病者の
ように
さまよい



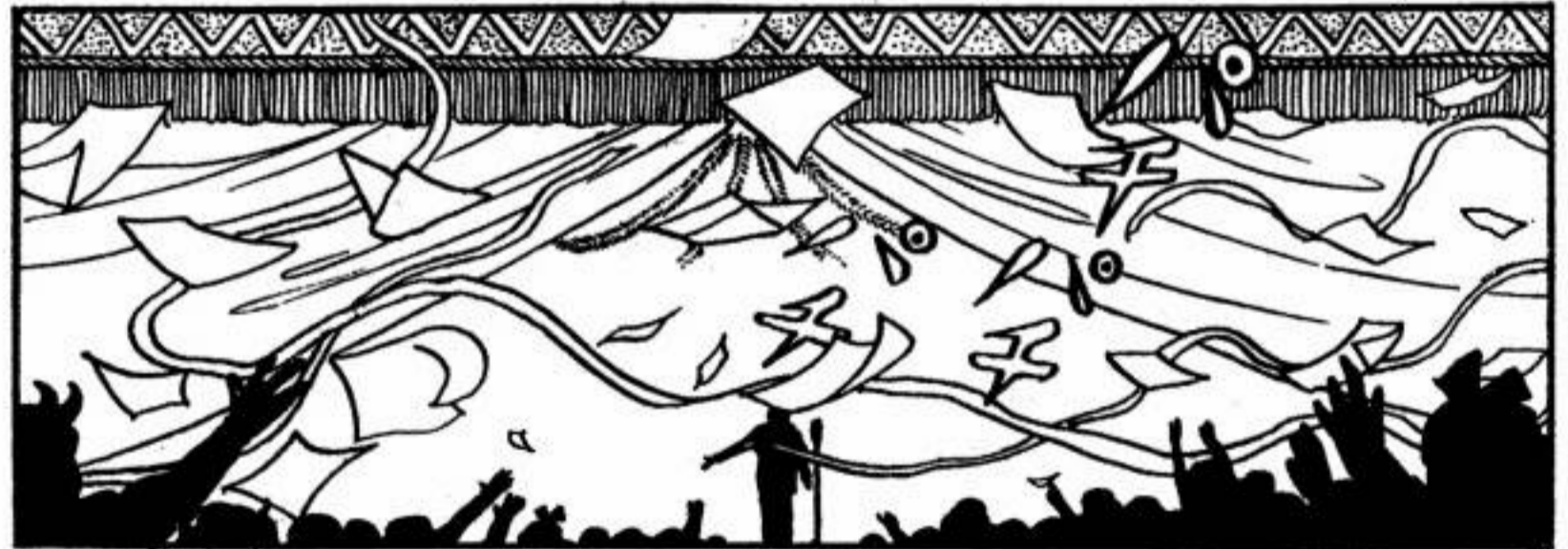
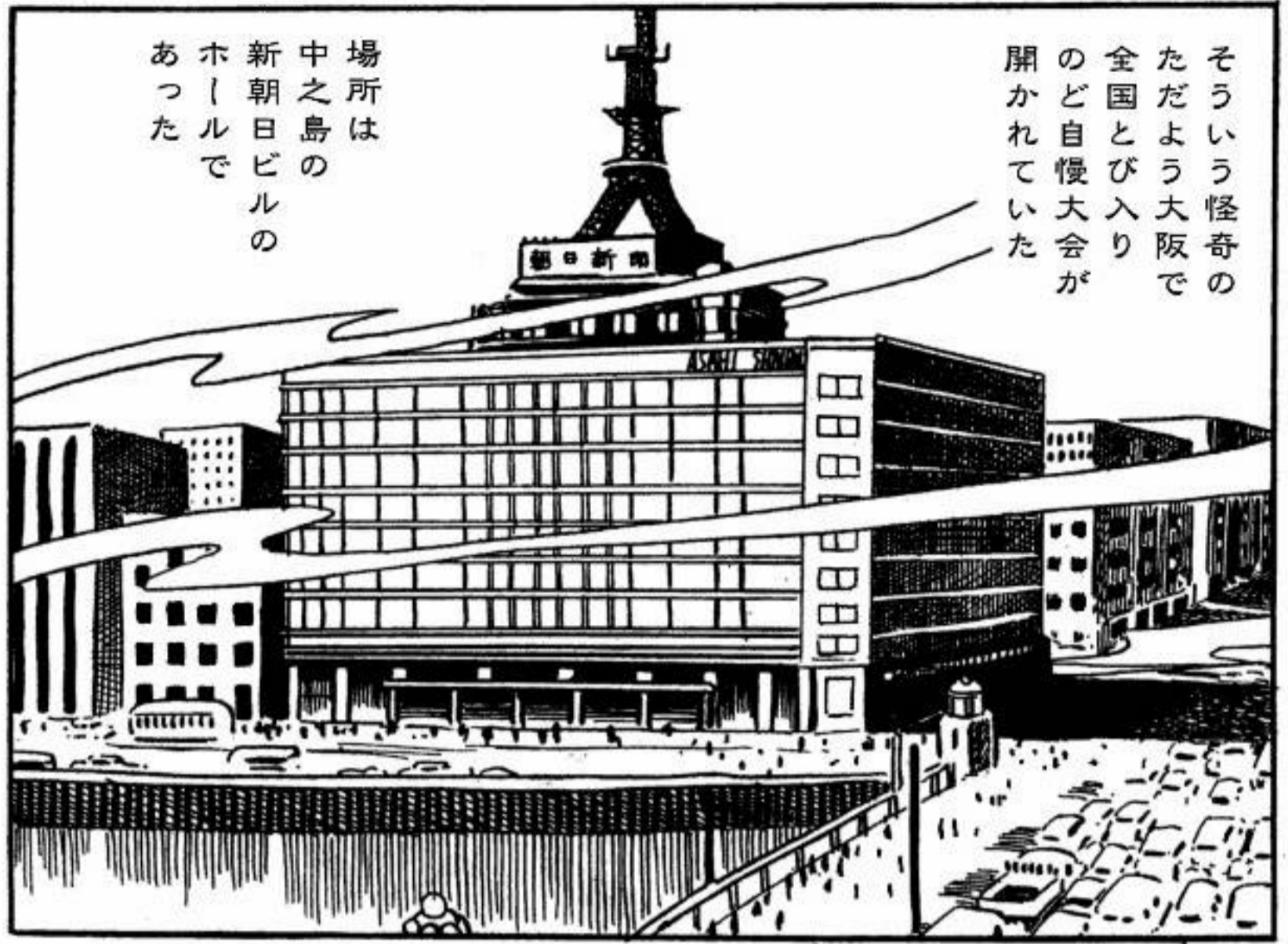
吸いよせられる
ように
どこへともなく
消えていった



そして
二度とかえ
ってはこな
かった

そういう怪奇の
ただよう大阪で
全国とび入り
のど自慢大会が
開かれていた

場所は
中之島の
新朝日ビル
のホールで
あった



次は
「ガイコツ節」を
唄われる
墓場鬼太郎
さん



さて
皆さん

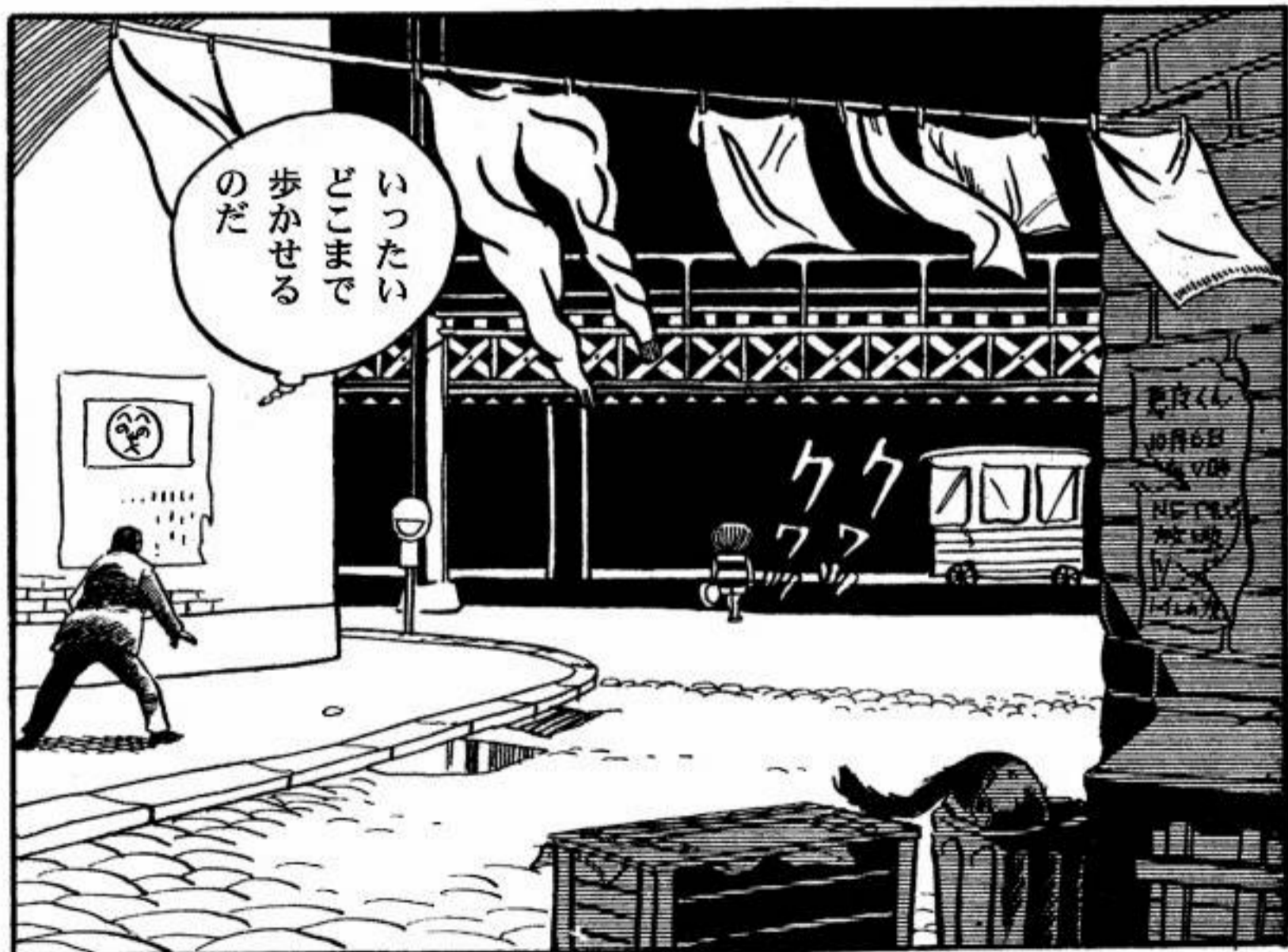




幸いアナウンサーの機転で歌は中止されたが、その歌は、人がどこかに吸い寄せられるあの歌と同じだった。鬼太郎をあやつっている牛鬼は、観衆を一人のこらさずどこかへ吸い取るうとしたのだ。しかし、この会場に、その歌をじつと聞いていた腕きぎの刑事があった。

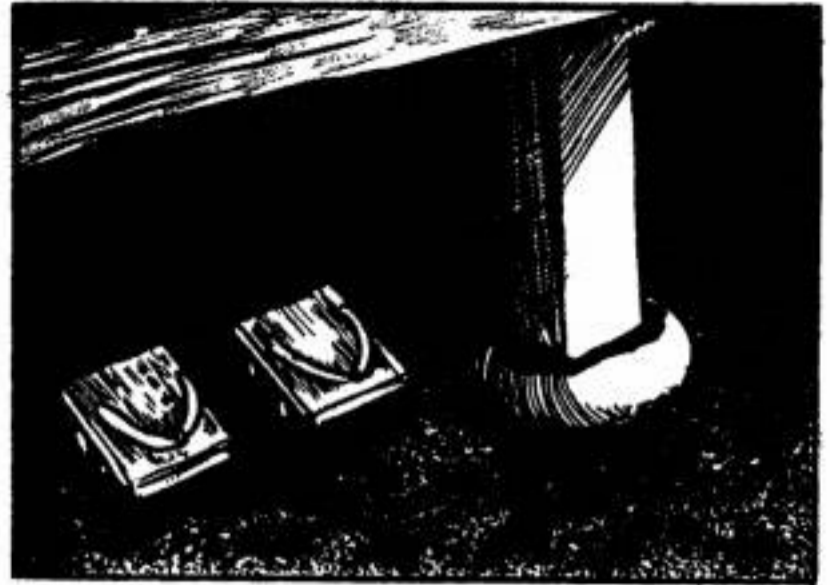


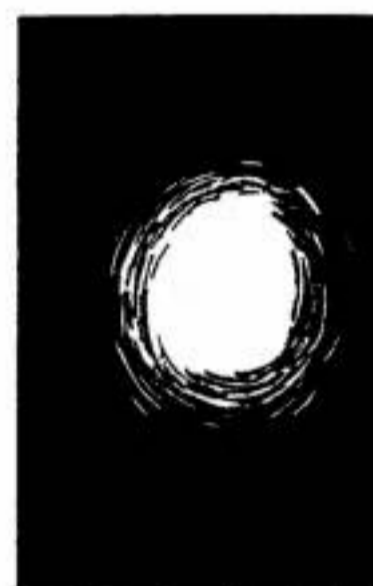
すみません
その歌を
中止して
下さい













静かな
 家には
 何事もな
 ったよう
 刑事の白
 が横たわ
 ていた





はい



鬼太郎
まずいことに
なった
大阪はもう
あぶない
人の多い
東京へ行こう
フガフガ





鬼太郎の
親父は
どうなったで
あろうか



さて……
水に流された



早速
先生に
おみせ
しよう



なんて
めずらしい
もんだろ





ふとしたところから吸血鬼であることがバレそうになったのでニセの旅券を手に入れた日本にやってきたのであった.....





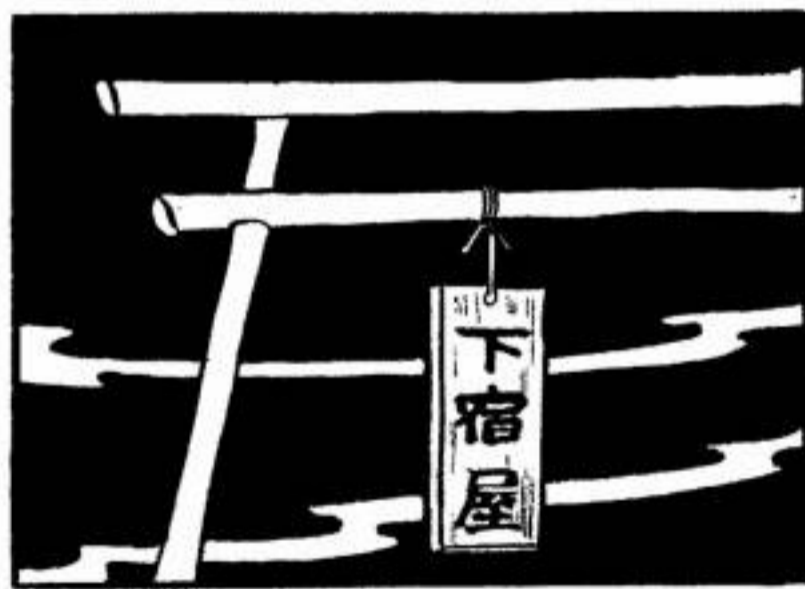


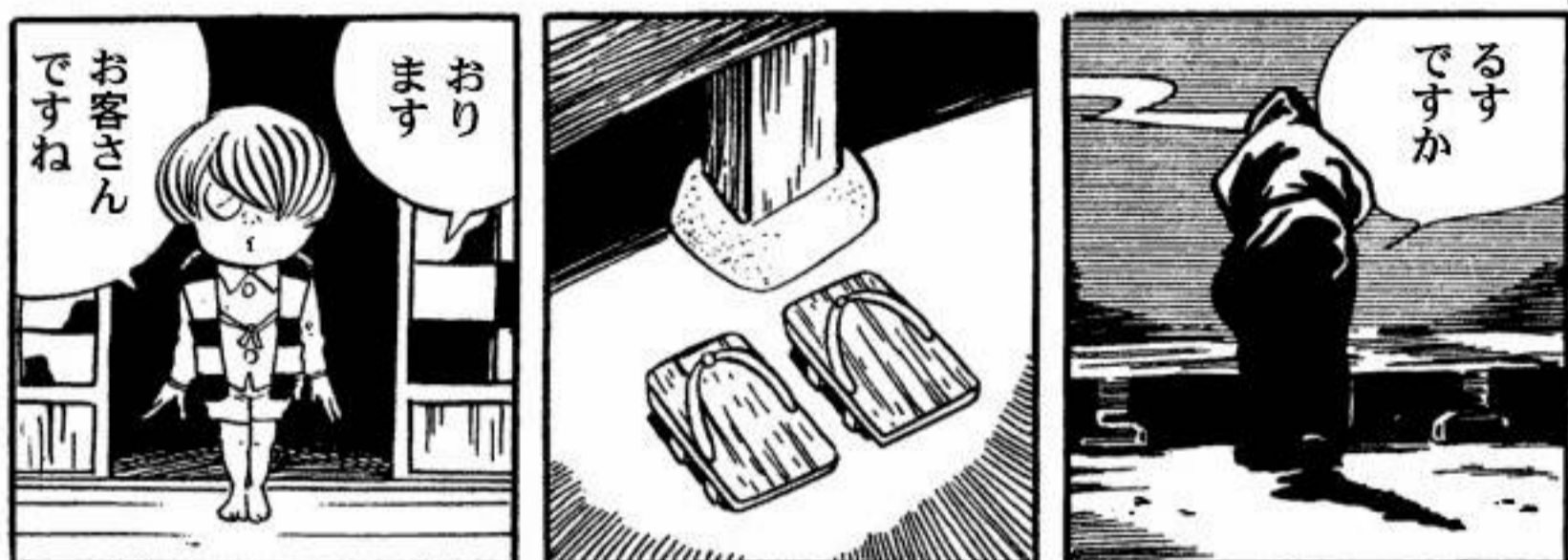


生温い風
が吹いて
いい感じ
……



おや
あんな所に
あかりが
……

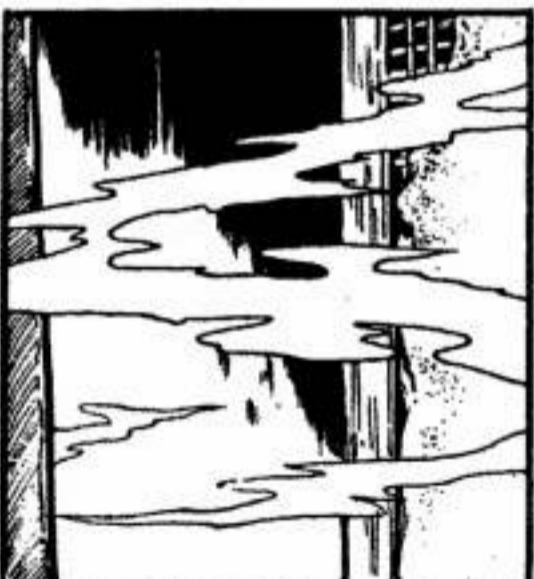


















すい
ませ
ん

欲シク
テモ
外ニ
出ラレ
ン



恥ズカ
シクテ
血ガ



才前ニ
鼻ヲ
チギ
ラレテ
カラ



ソウダナ
明日ノ
晩
イタ
ダク
カナ



となりの
漫画カキ
は血の
すい時
ですぜ



とこ
ろで
先生

ナン
ジャ



今夜ハ
ユツクリ
休ムト
シヨウ



鬼太郎は
どこだ
ろう



いまが
逃げる
チャンス
だ

そのあくる日
即ち漫画家が
牛鬼か吸血鬼に
食べられよう
とする日の
朝である

これから
朝食の
用意だ



おい
鬼太郎



鬼太郎
?

鬼太郎って
誰のことかな



そんな人
ここに
います
んが



おお
なんと
いかな
しい
ことだ



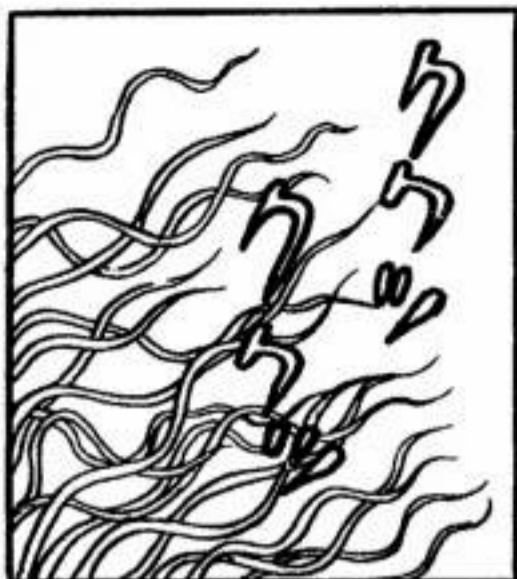
これも
すべて
魂を牛鬼の
ために
抜かれた
からだ

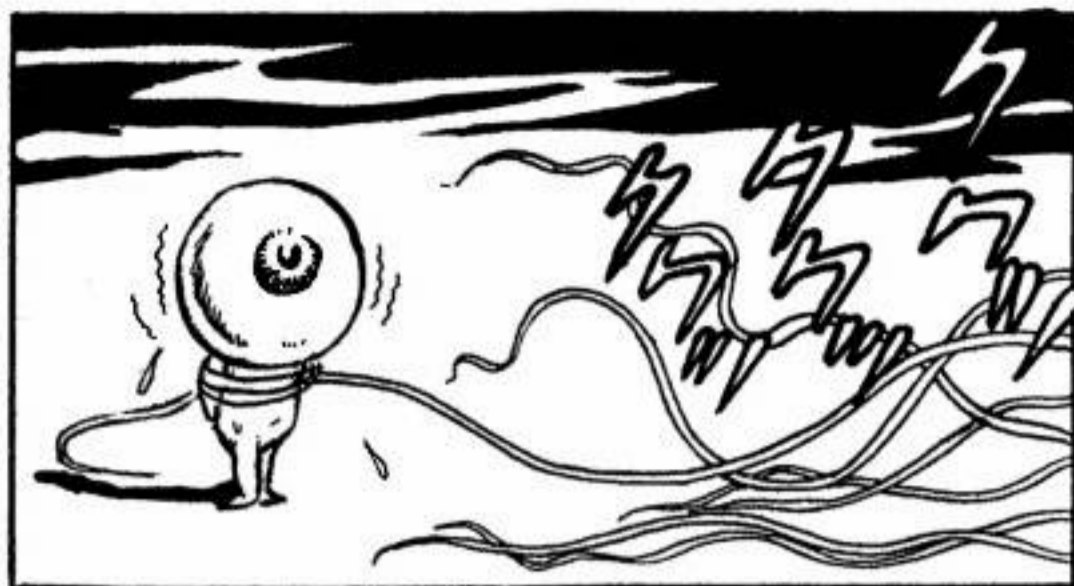


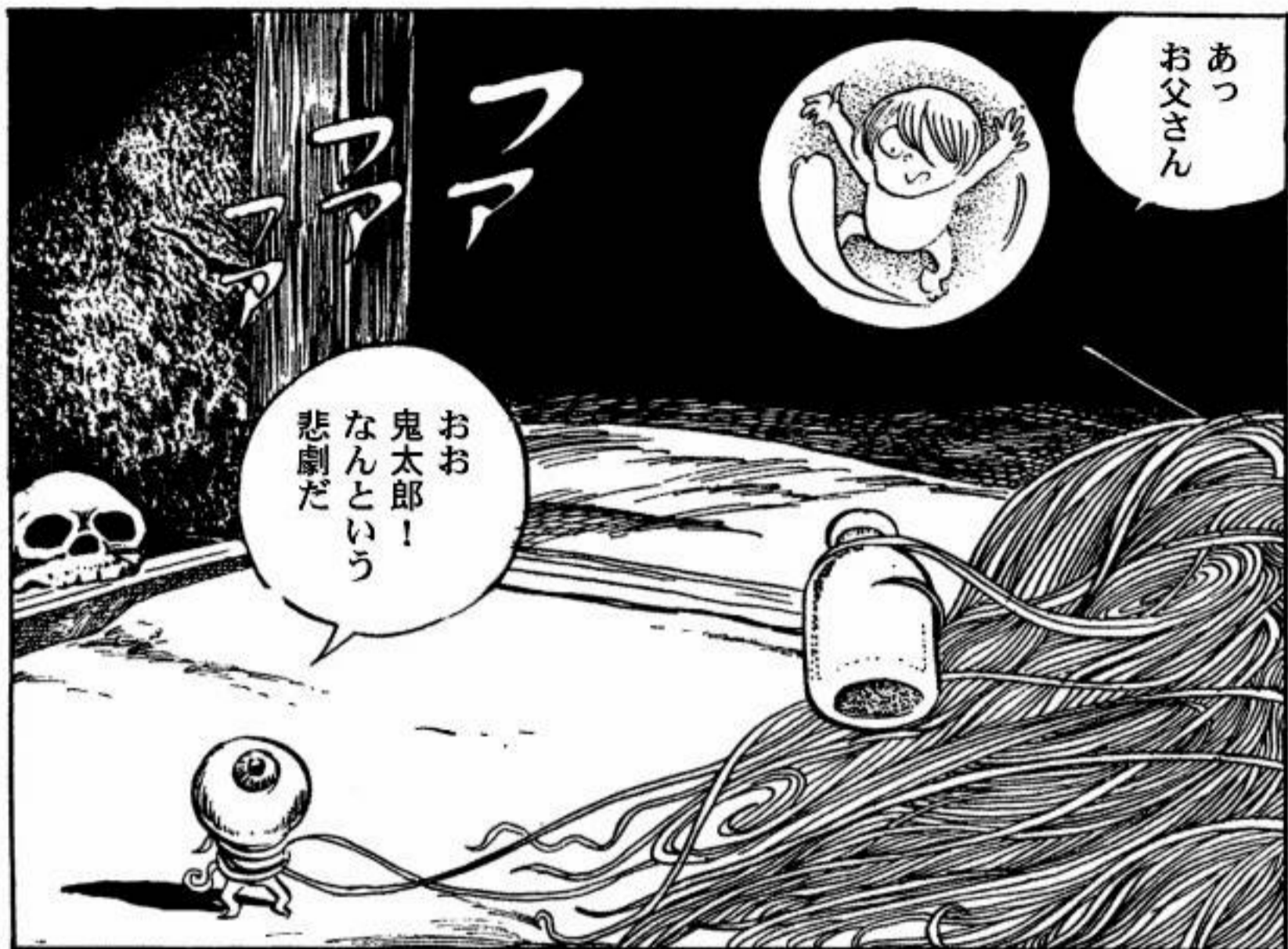
さつきから
うるさい
目玉だな



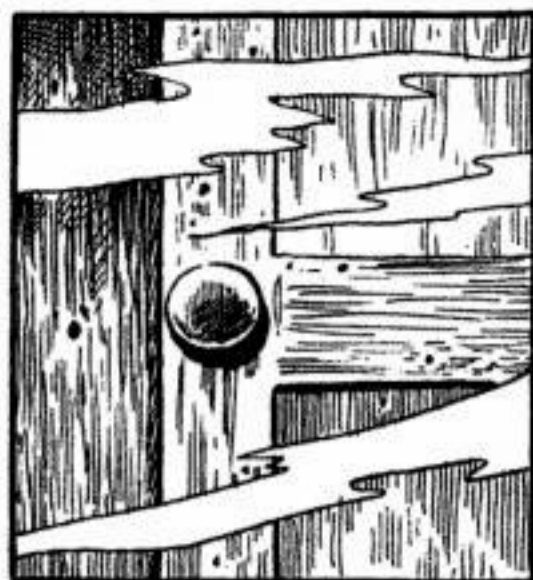












トナリノ
者デスガ
マンガノ
話デモ
聞コウト
思イマシテ
.....



チヨット
コチ
ラヘ



誰カ
来マシタ
ネエ



いま
あけ
ます



どなた
ですか



アケテ
ヤレ

ん





人里はなれた下宿屋で
一人のエサをめぐって
時ならぬ激闘が
くりひろげられた
一千年の眠りからさめた
牛鬼と 吸血鬼の対決
.....



はたまた
ビニールのシャボン玉に
おしこめられた鬼太郎の
魂はどうなるか.....



そして……
ビンの中に閉じこめられた
目玉（鬼太郎の父）の運命
は……………



全日本怪奇ファンの魂を
ゆさぶる傑作長篇

「鬼太郎夜話」は

次号につづく

第3回

水木しげる

水木プロ製作

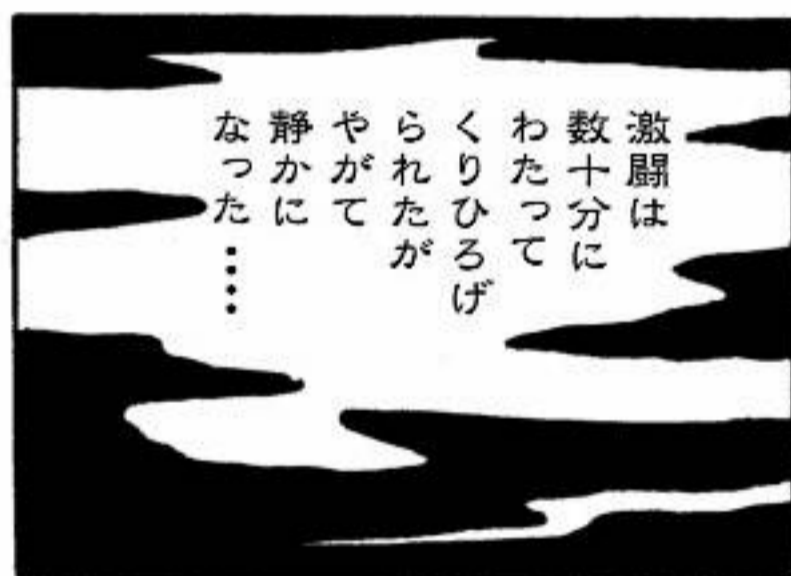


鬼太郎夜話





ここは人里はなれた奇妙な
下宿屋 その中では一人の
エサをめぐって時ならぬ激
闘がくりひろげられてい
た……………
千年のねむりからさめた
牛鬼と腹をすかした吸
血鬼の対決だった!!



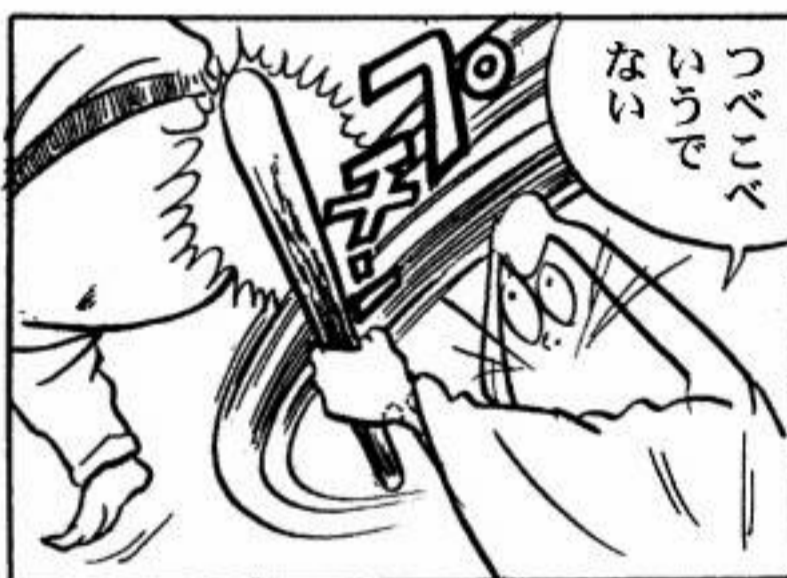
激闘は
数十分に
わたって
くりひろげ
られたが
やがて
静かに
なつた……



いったい
どちらが
勝った
んだ



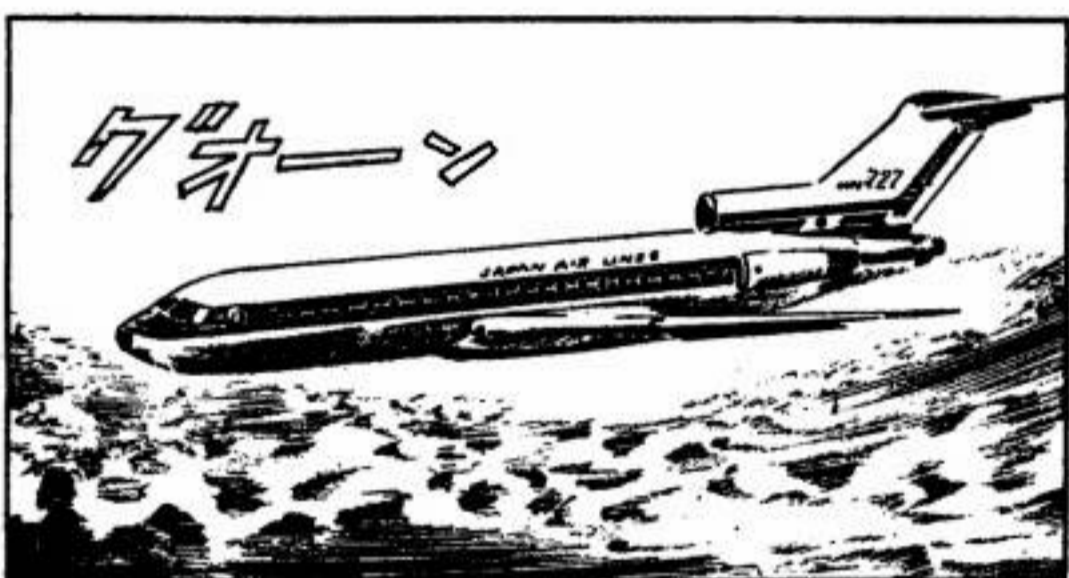
そこには二人の
もつれあつた
丸い玉が一個
あるだけ
だった





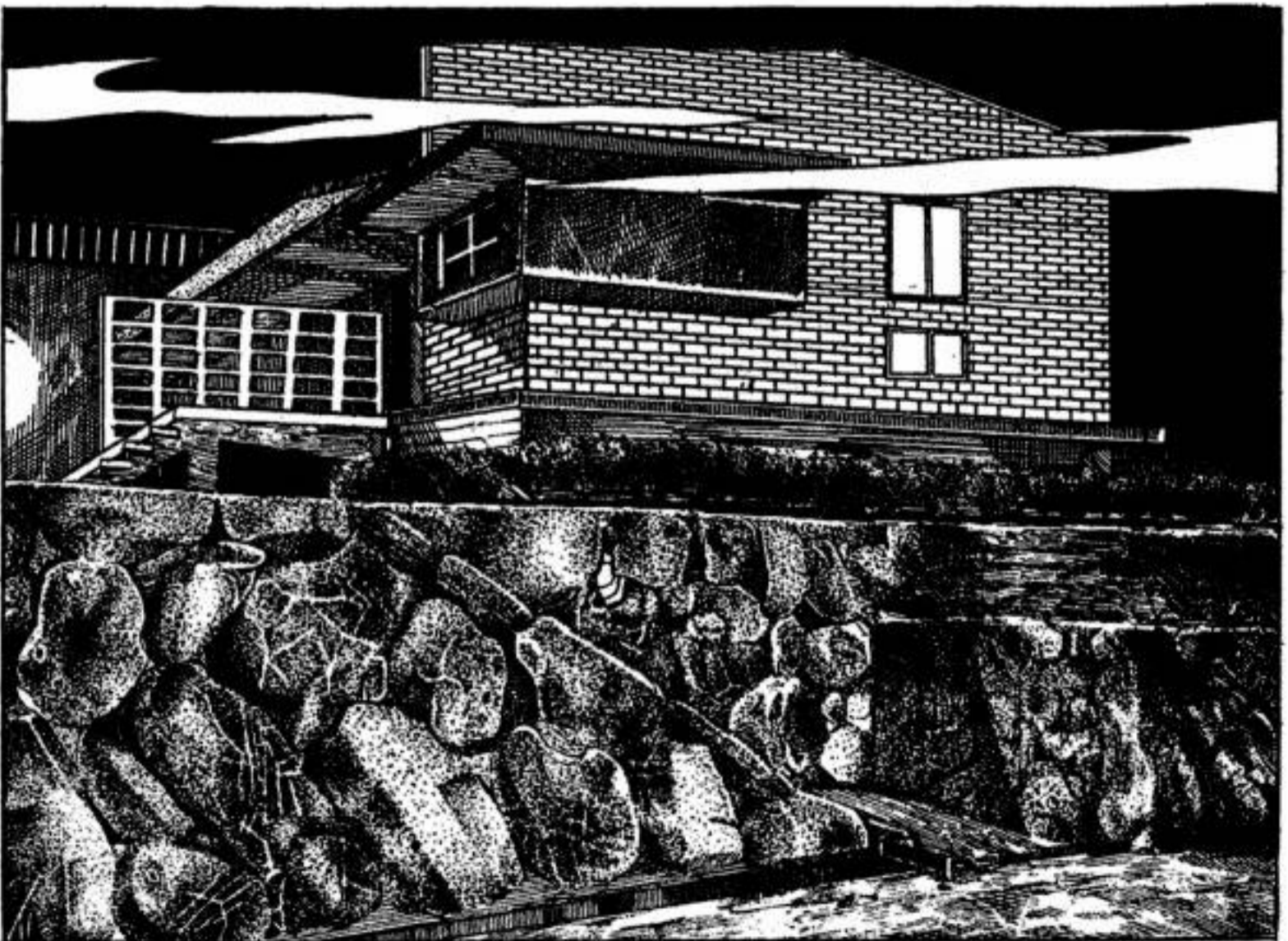
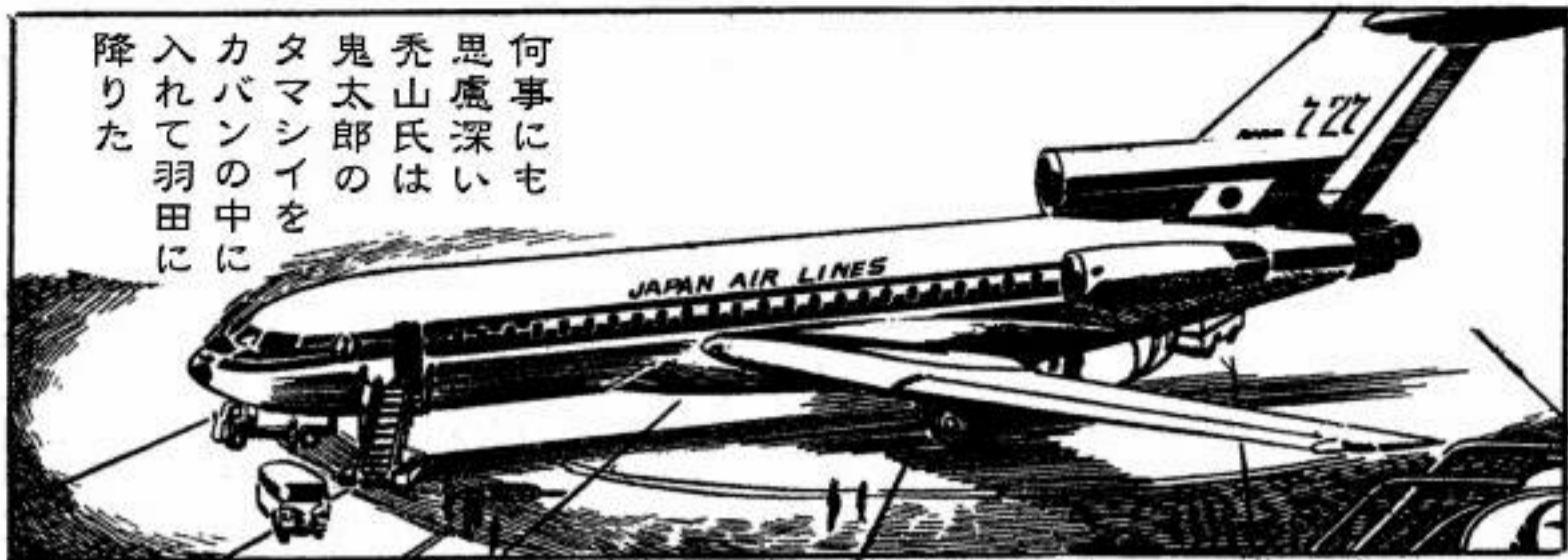






日本血液銀行頭取^{はげやま}禿山氏は会社の製品に幽霊の血がまじっていたことから日本で信用を落とし、なんとかアメリカに血液を輸出しようとして交渉に行き失敗してのかえりであった

何事にも
思慮深い
秃山氏は
鬼太郎の
タマシイを
カバンの中
に入れて羽
田に降りた

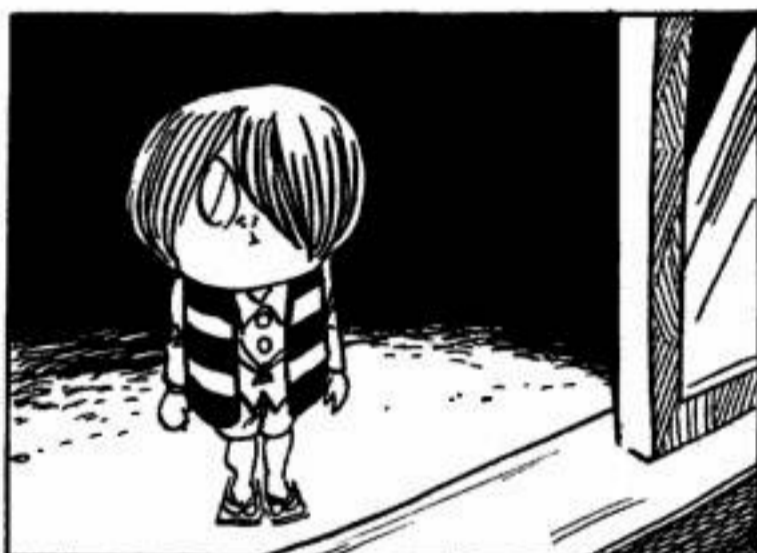




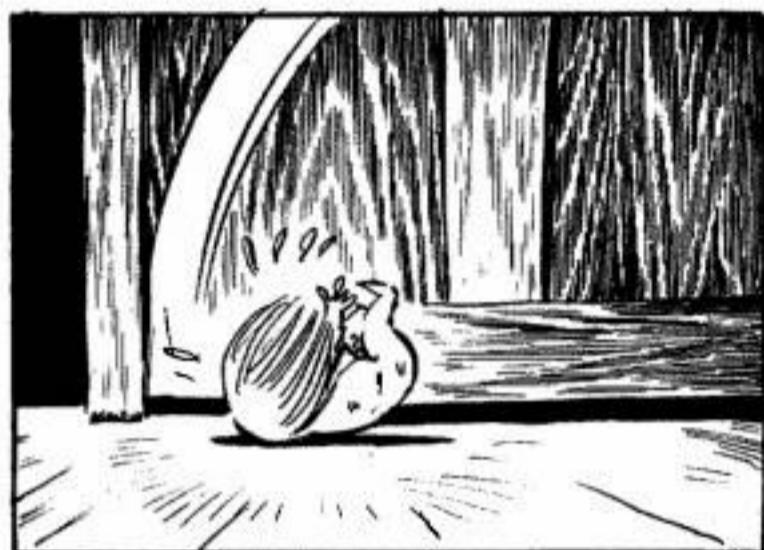
この
真夜中に
いったい
だれ
だろう？



どなた
じゃ？











牛鬼？

それは
牛鬼
です



…
とすると
その魂
(生気)を
抜き取ったものは
よほどの
神通力を
持ったものと
いえよう



そんなものが
現代に
いるはずは
ない



まあいい
話が
進まないから
いることに
してもだ
…
魂を
抜かれた
人間は
死んでいる！
生きている
はずが
ないでは
ないか



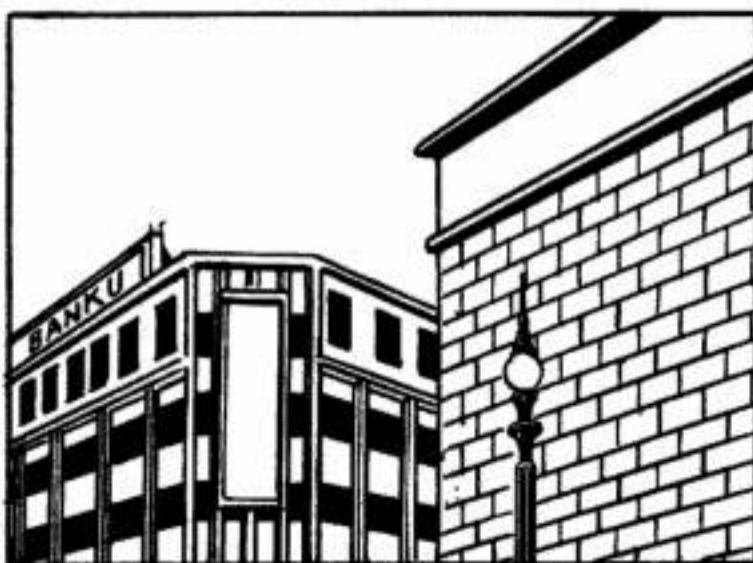
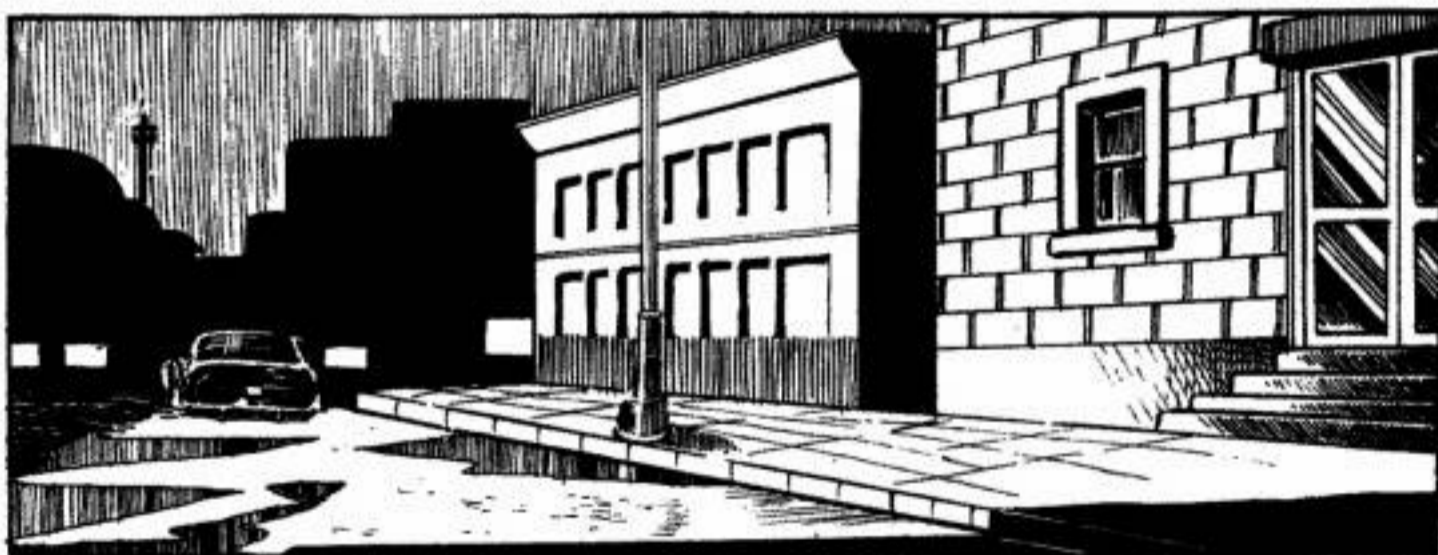
はははは
それはね
むかしの
伝説であつて
実際には
そんな生物は
いないのだ

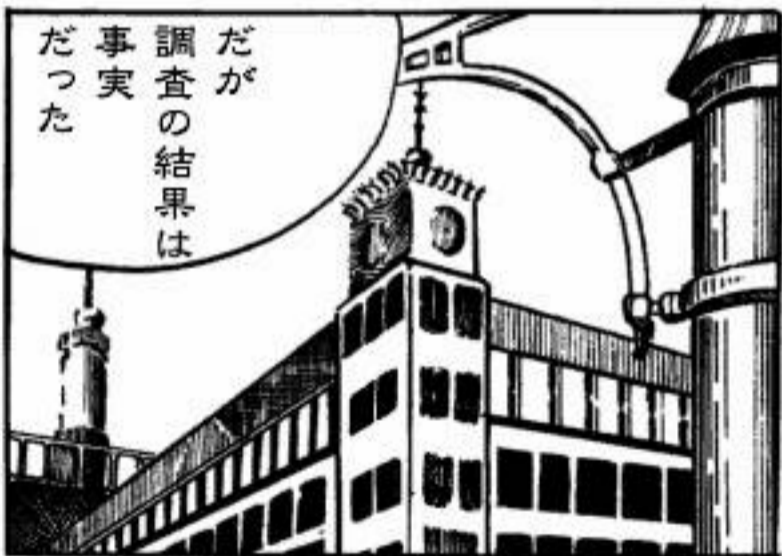
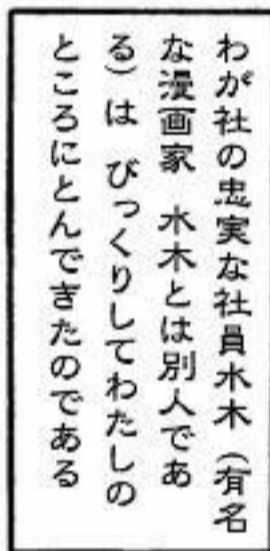


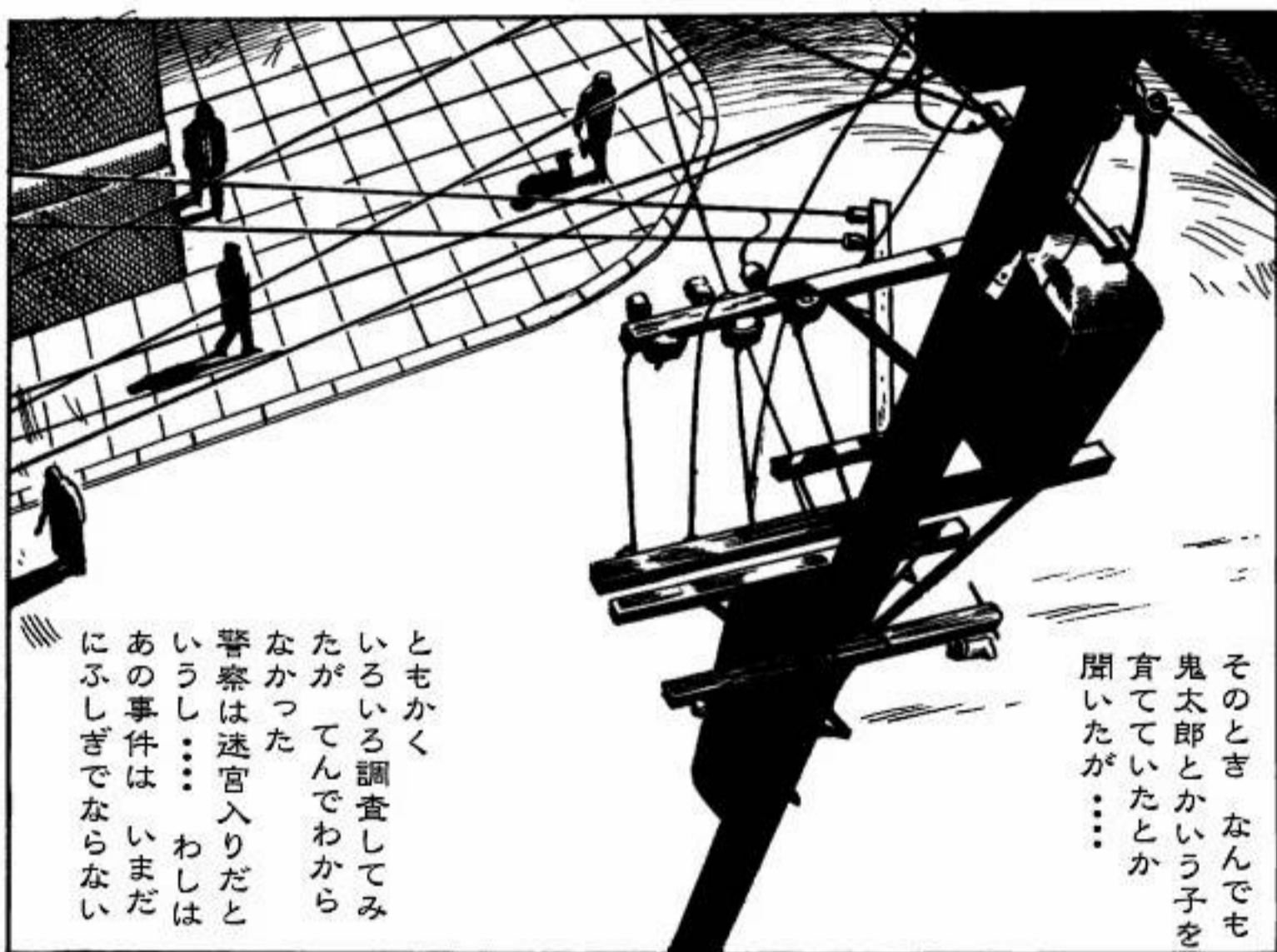
ばかなっ
そんな
もの
いるわけが
ない！



でも
生者でも
死者でも
なかつ
たら…



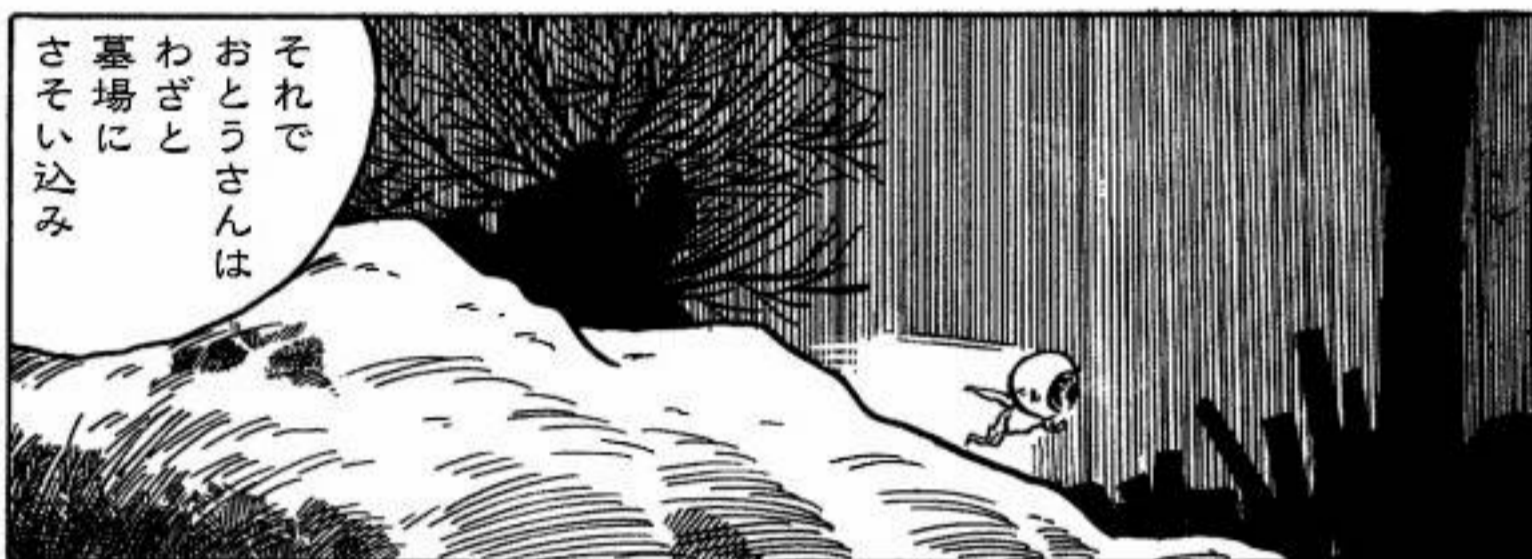




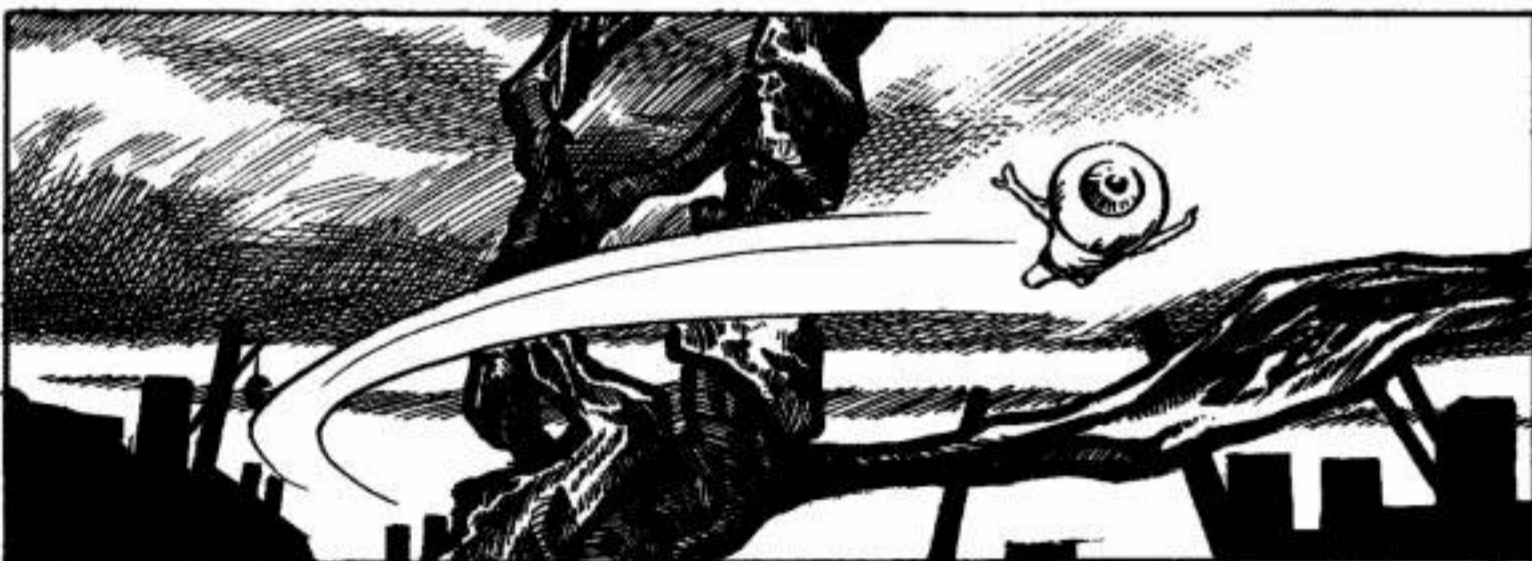




われわれを
つかまえようと
警官と
追いかけて
きたのです

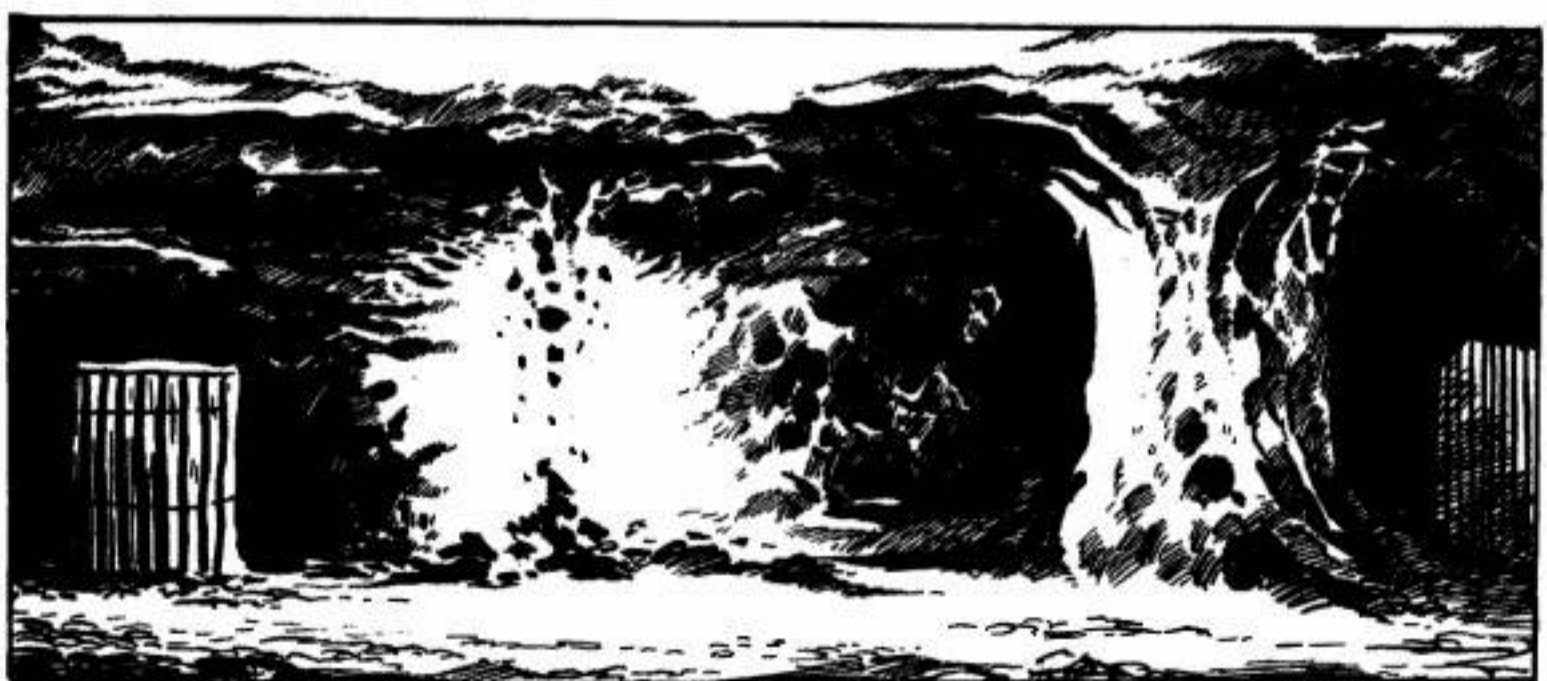


それで
おとうさんは
わざと
墓場に
さそい込み















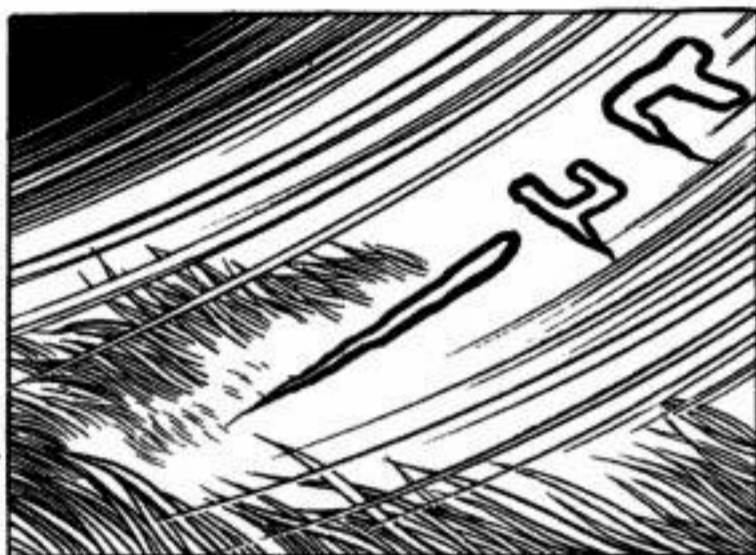


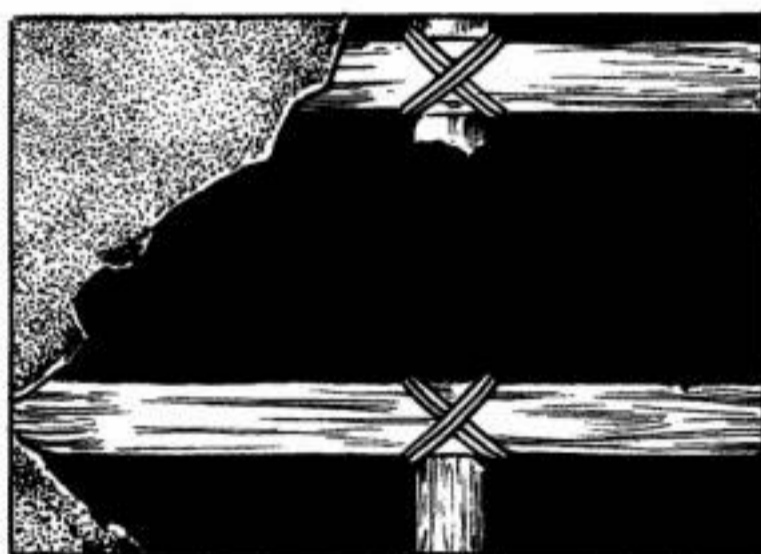
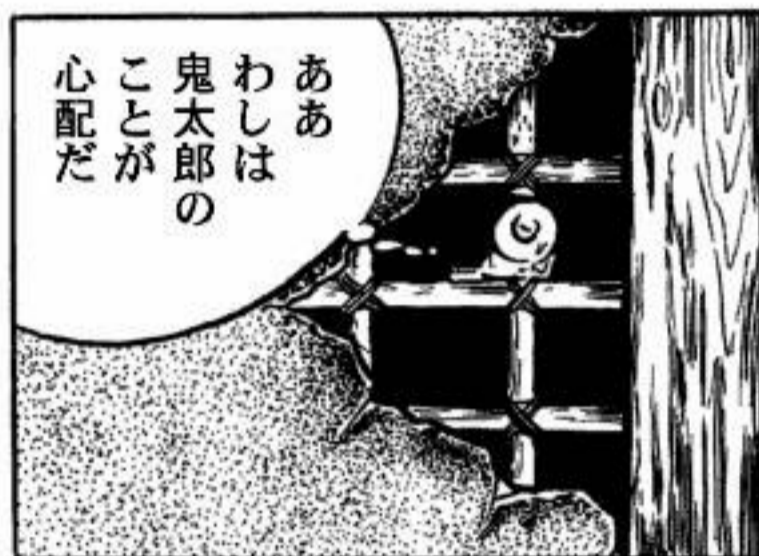
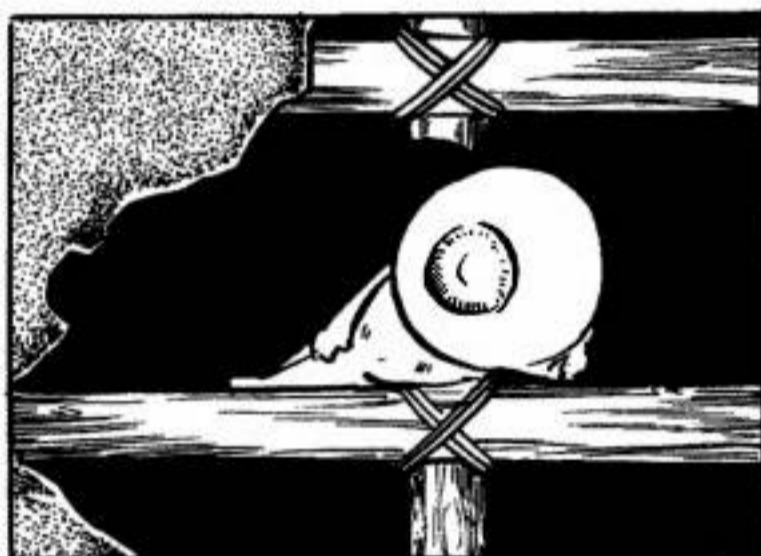


















ううむ
ほんとう
らしいな



ねずみ男は いったい
何をすつもりなのか……
百万円のかわりに ドラム
缶一本分の血をもらって
帰った
墓にでも そなえる
つもりであるうか……

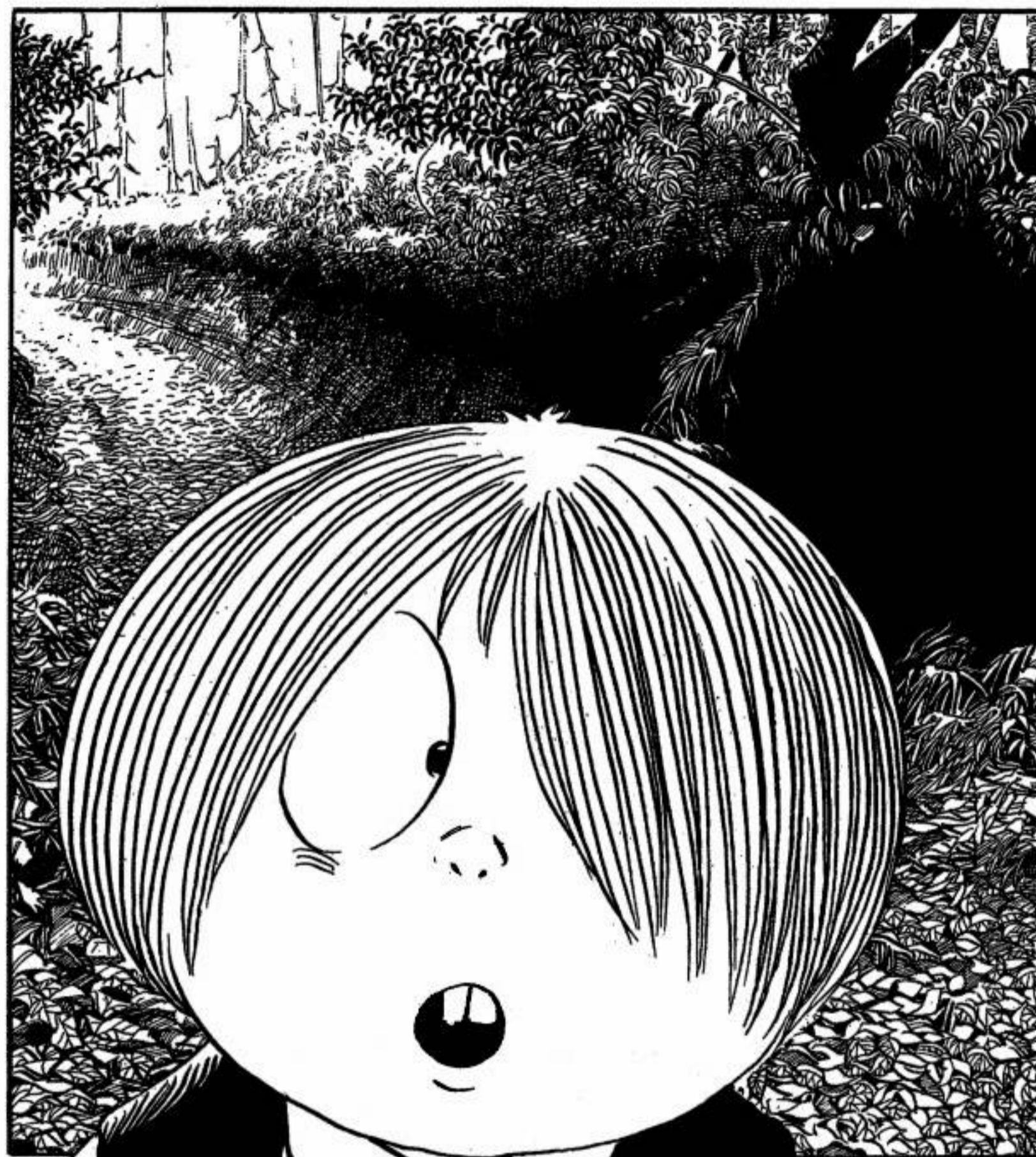






鬼太郎夜話

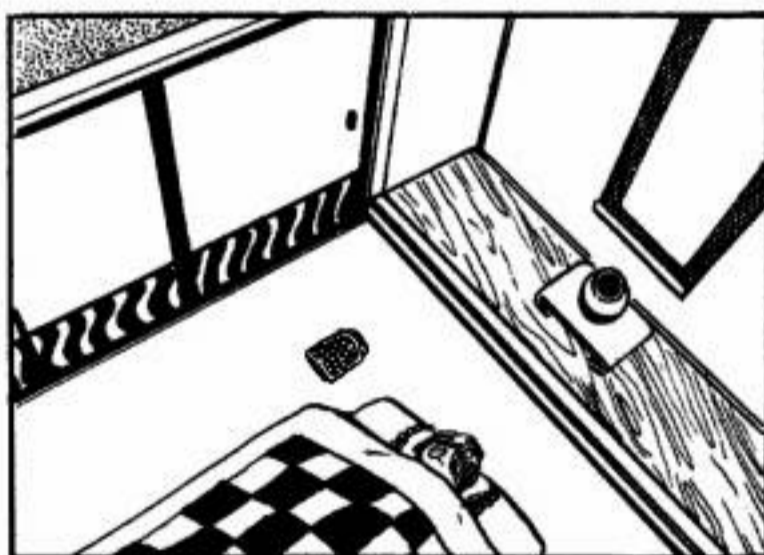
水木しげる 水木プロ製作



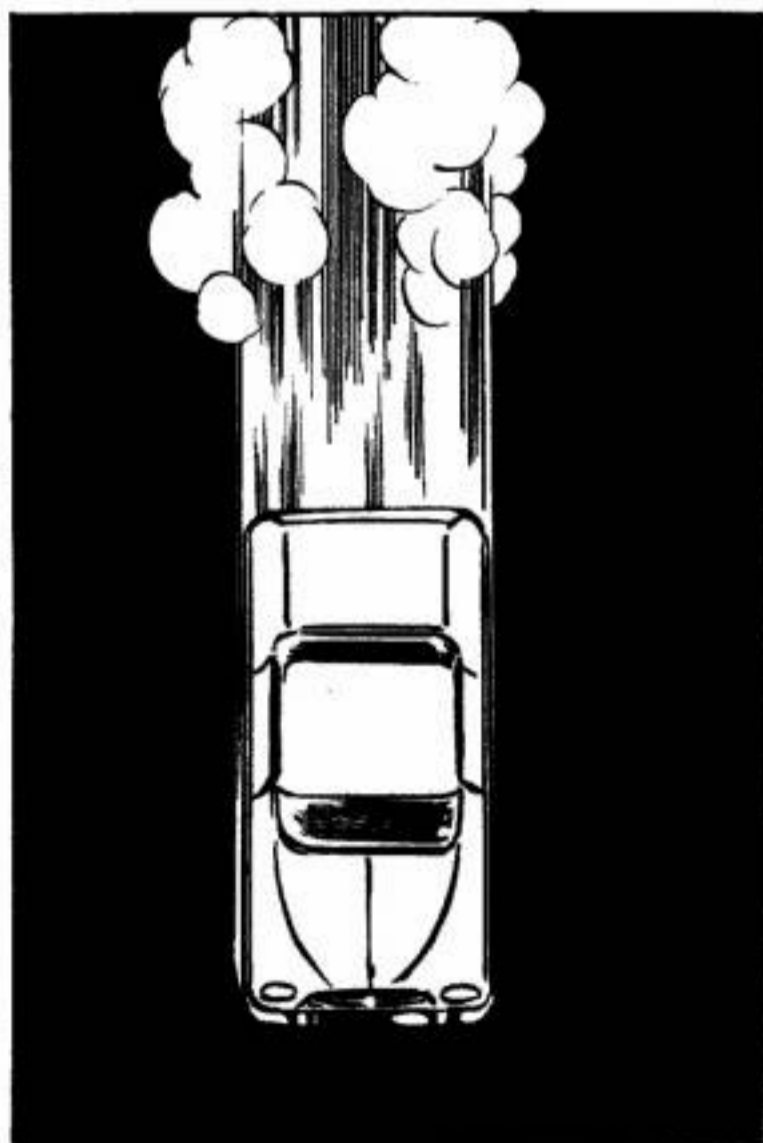
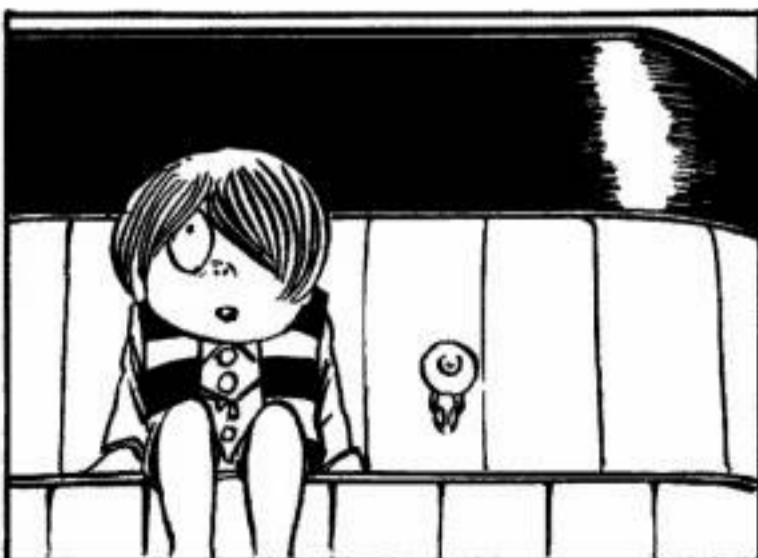
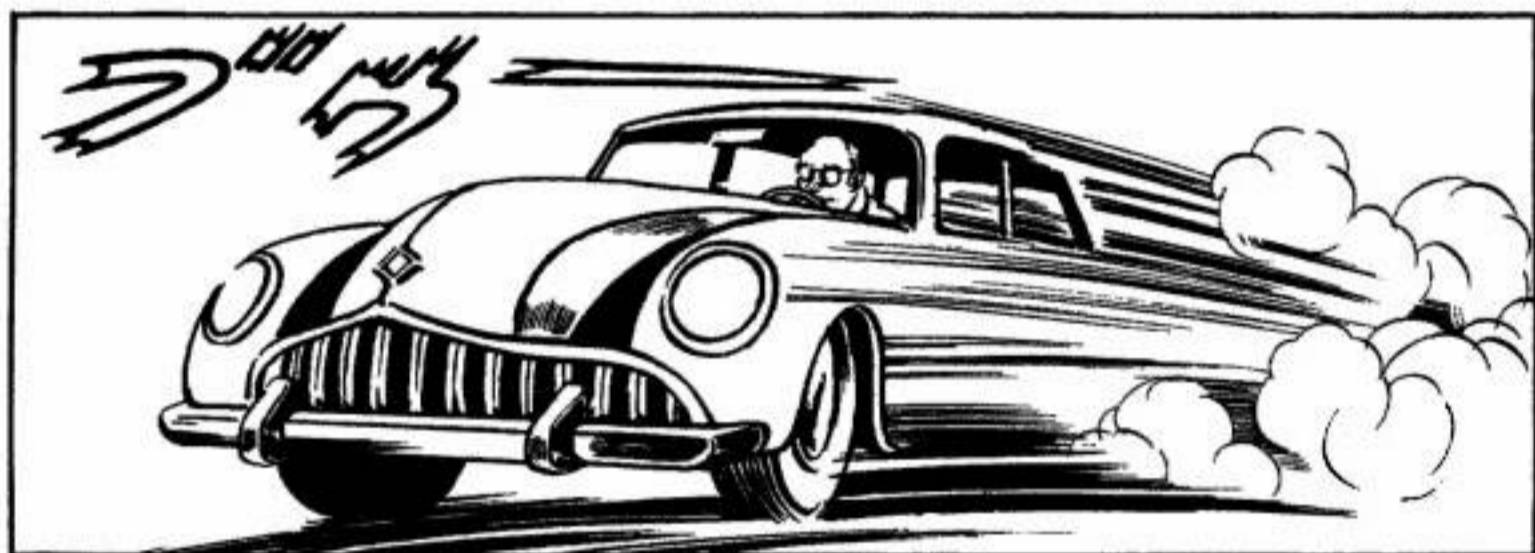
第 4 回

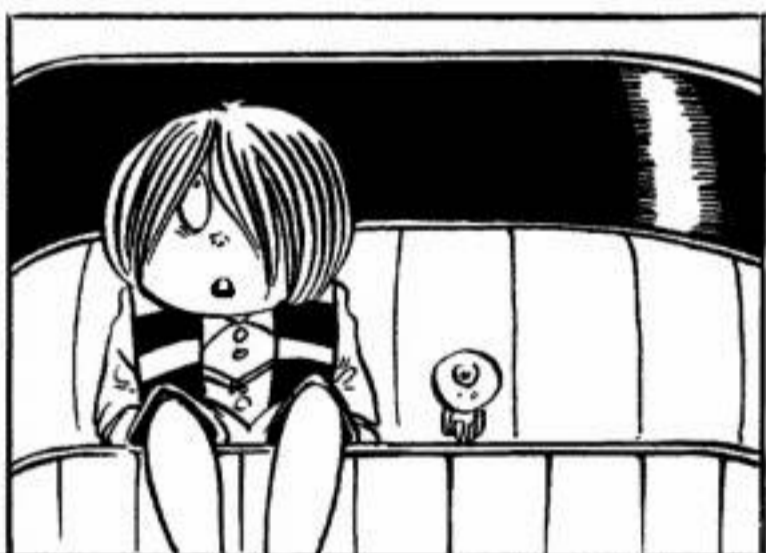
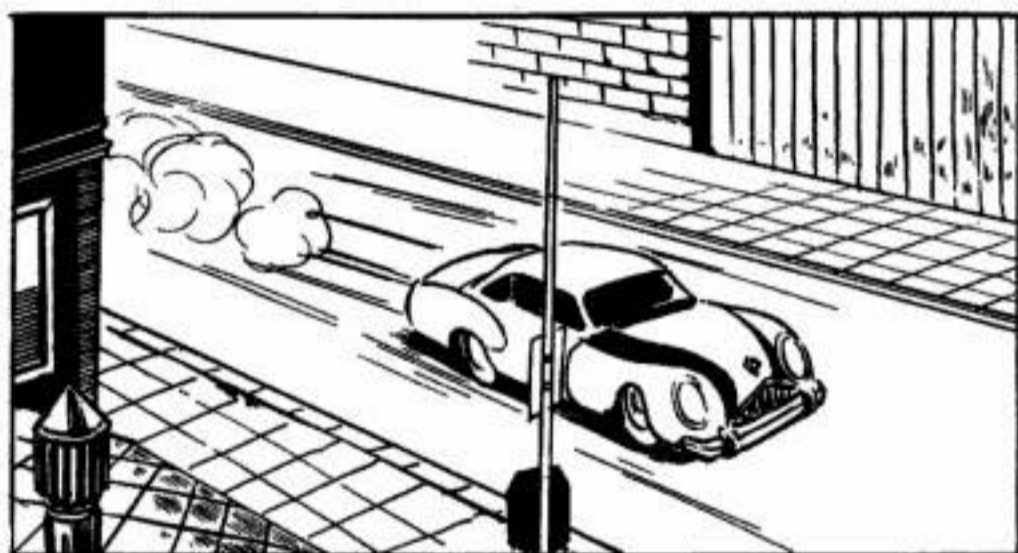
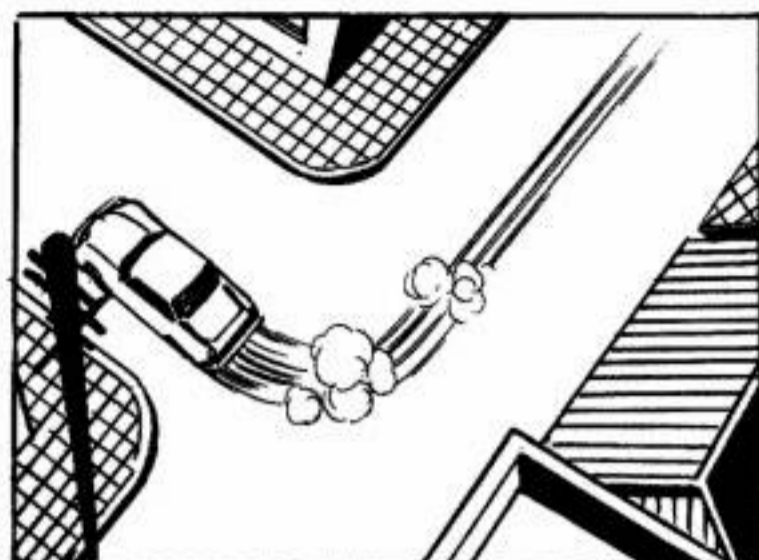






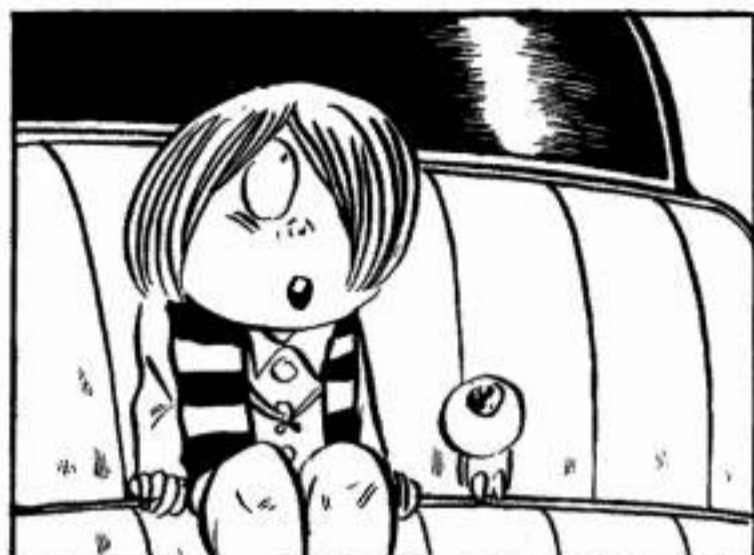




















ときに
鬼太郎
さん

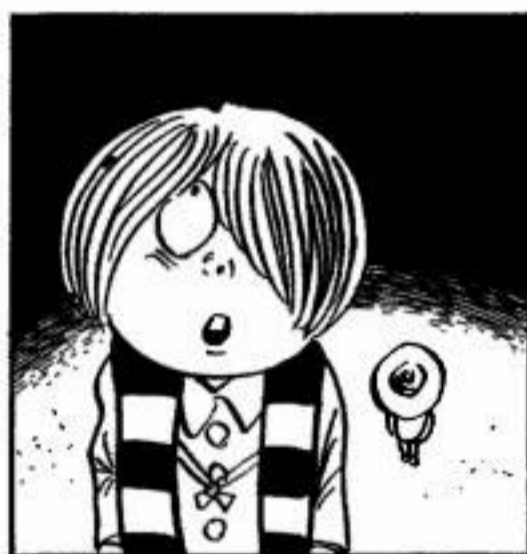
ここは
どこかね？



……
どうして
だまってるん
ですか



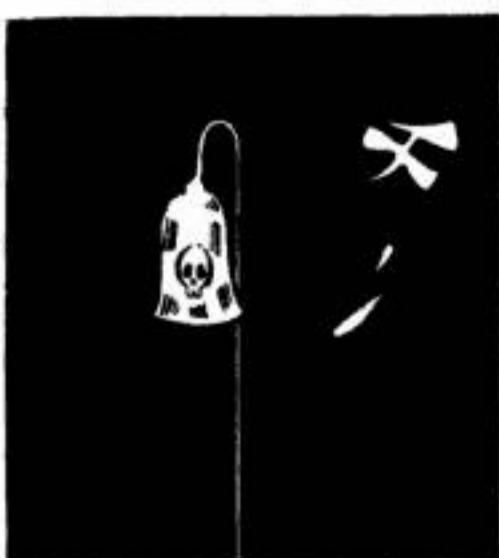
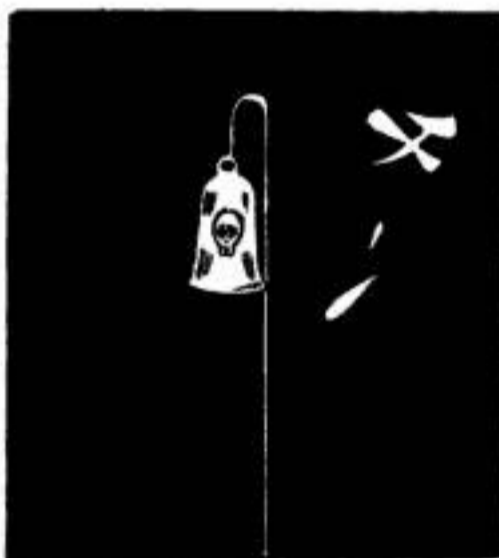
わしは
なんだか
だんだん
気持ち
が悪く
なってきた











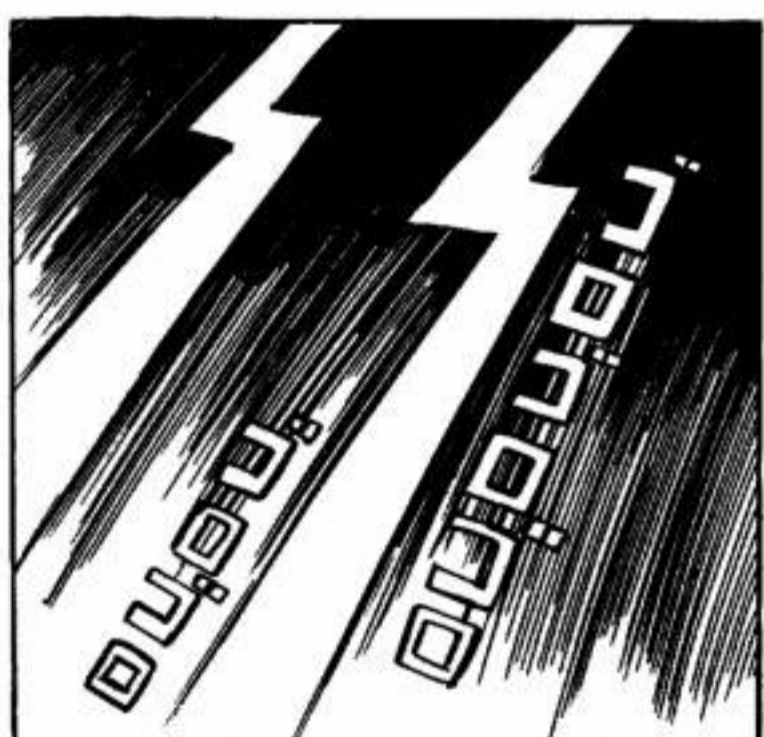


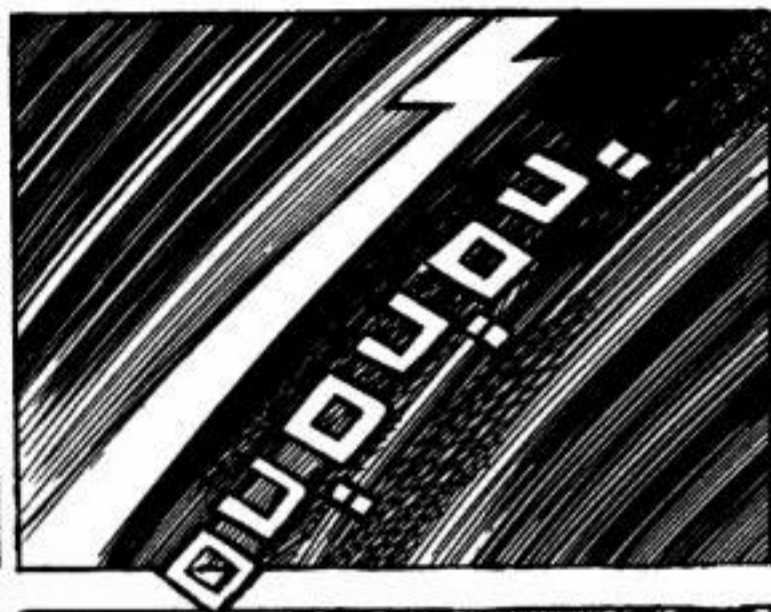












ねずみ男は とうとう新しい妖怪を作り出すことに成功したようだ。これが かの有名な「吸血木」の芽なのである。

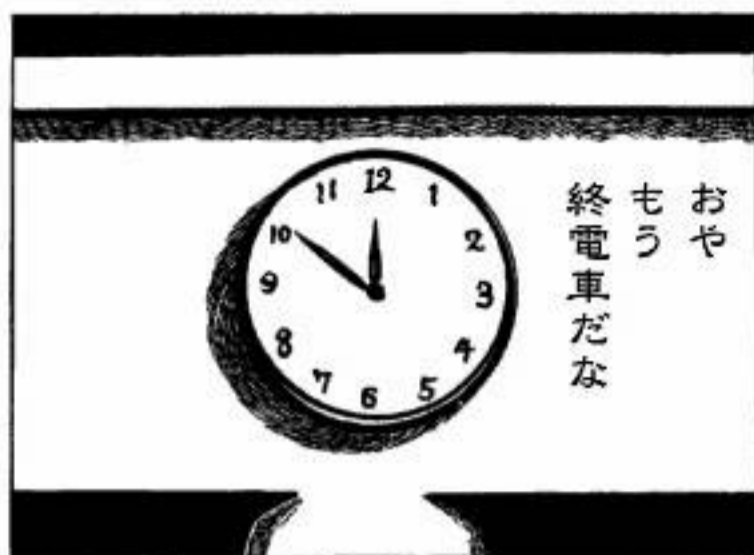


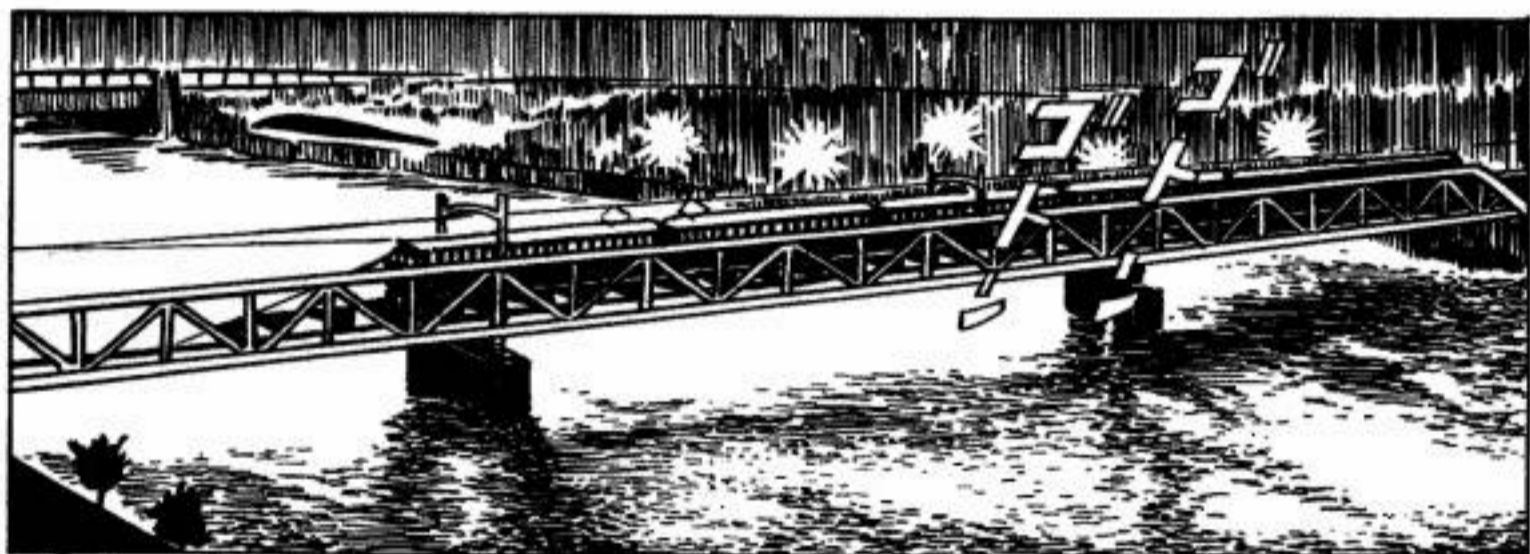
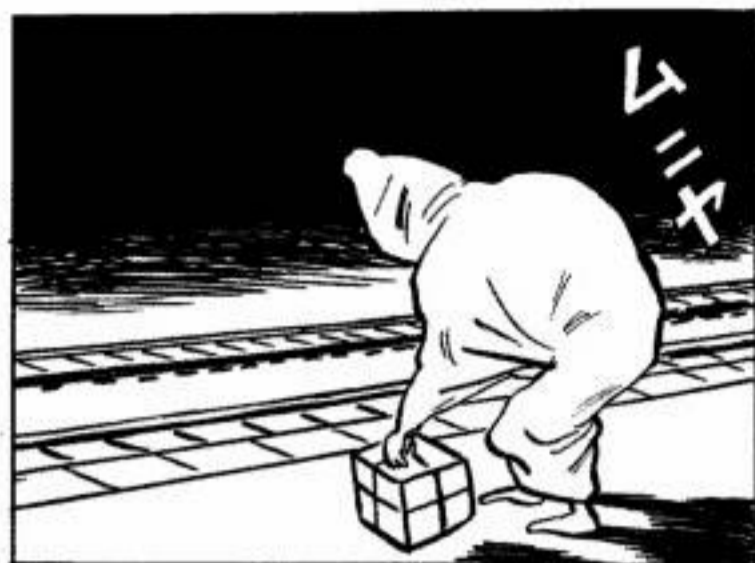


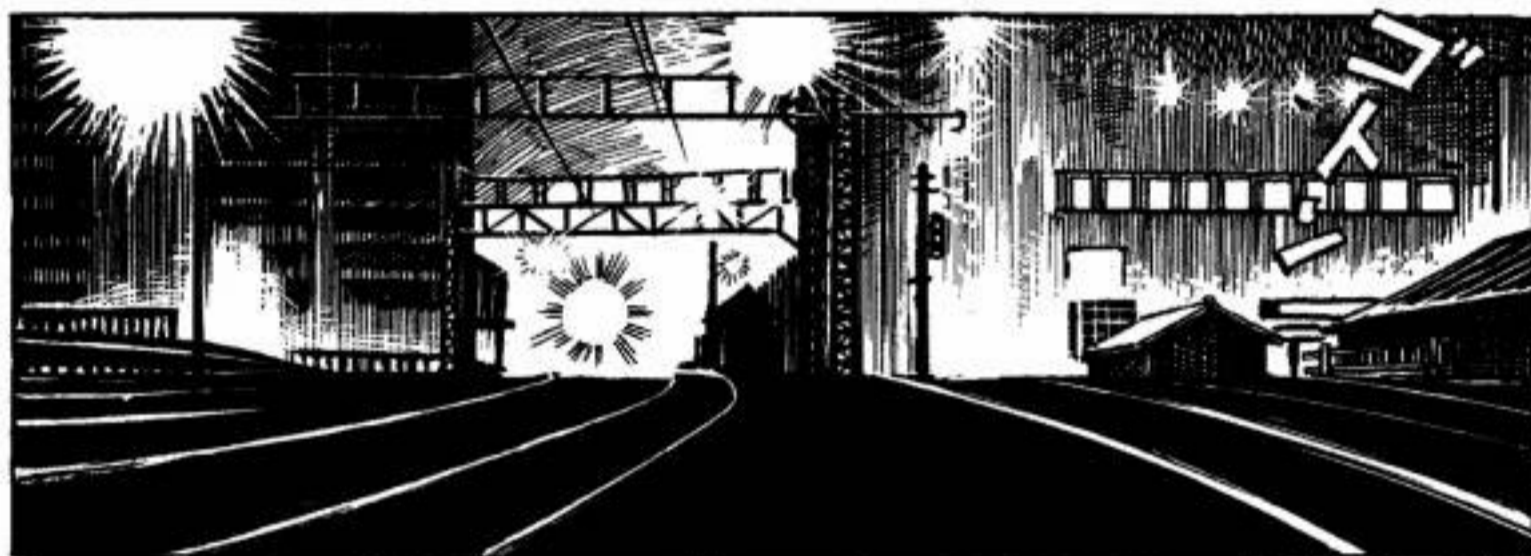
第5回

鬼太郎夜話

水木しげる 水木プロ製作







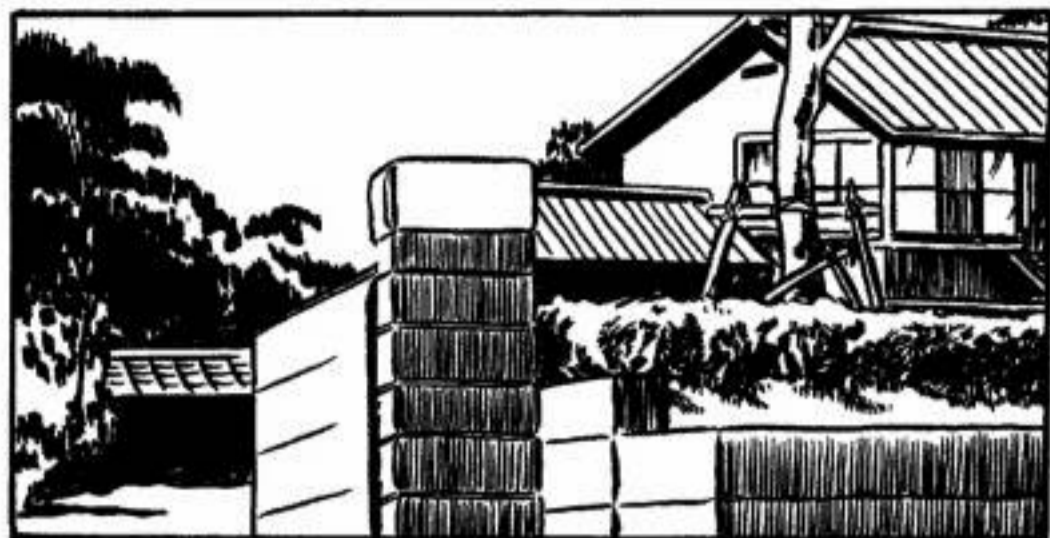


このねずみ男は もう十年も歯をみがいたことがないうえに がまだとか おけらを食べているものだから その息のくさいこと……いたちの屁を まともには食らったのと同じである

ポディビルできたえた さすがの由美夫氏も 気を失ってしまった

















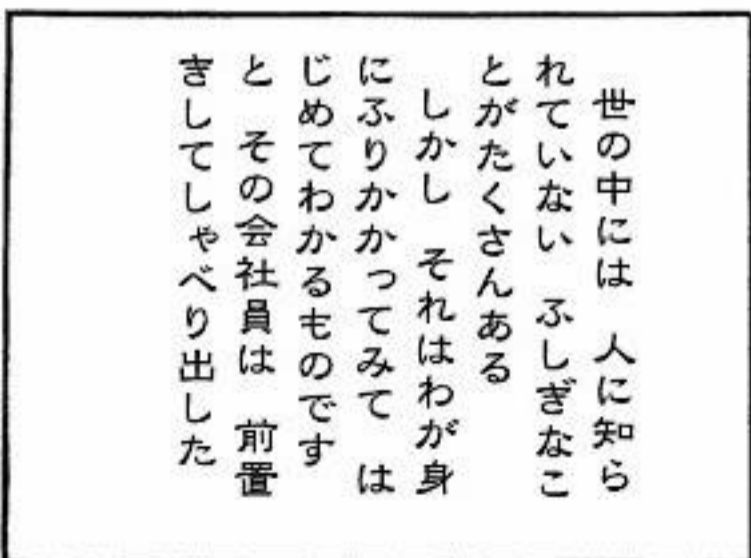




……といったその男の顔は
青白く、はく息は、まるで
屍のにおいがした







「鬼太郎大全集」刊行にあたって

平林重雄（関東水木会）



本企画は、1960年に貸本誌『妖奇伝』（兎月書房）に発表された「墓場鬼太郎」から今日に至る約42年間に、漫画家・水木しげる翁が描いた“鬼太郎”作品を限りなく網羅した鬼太郎全集である。過去、原稿の紛失等により、完全に鬼太郎作品を収録した全集はなかったので、今回の試みは貴重なものと言えよう。

今回の収録にあたっては、単行本未収録作品のほか、これまで収録された作品についても、可能な限り雑誌発表時に近い形に復元を試みた。例えば、単行本収録時に失われたページや、オリジナルの扉絵も復元し、さらに、電子書籍という強みを利用し、カラーページの復元に努めた。今後は、三期に分けて順次刊行していく予定である。

第一期シリーズの第一弾として、『月刊ガロ』（青林堂）に掲載された「鬼太郎の誕生」と「鬼太郎夜話」をラインナップした。いずれも貸本時代の「墓場鬼太郎」シリーズの雑誌版へのリライト作品であり、『週刊少年マガジン』（講談社）に掲載された鬼太郎作品よりも後の発表になるが、作品としては、鬼太郎の前史とも呼べるストーリー故に先の収録とした。

「鬼太郎の誕生」のオリジナルはどれだ!?

ガロ版「鬼太郎の誕生」は、貸本時代の鬼太郎デビュー作品である貸本誌『妖奇伝』の第1〜2巻（兎月書房 1960年）に発表された「墓場鬼太郎」と「墓場鬼太郎・幽霊一家」の鬼太郎誕生編を雑誌版へリライトさせた作品である。この頃の鬼太郎作品は、現在とは異なり、グロテスクでかなりホラー色が強い作品となっている。

このリライトされた作品は、『月刊ガロ』1966年3月号に掲載され、1966年7月発行のゴダマプレス社・ダイヤモンドコミックス「墓場の鬼太郎」に収録されて以来、単行本には収録されず、今回、なんと34年ぶりの復刻となった。

34年間もオリジナル版が収録されなかった理由は、後の『別冊少年マガジン』68年夏休み特大号に、ガロ版を大幅に短縮し、改稿した同タイトルの「鬼太郎の誕生」（後に「幽霊一家」に改題）が発表されたことによる。このマガジン版は、原稿に直接手を加えた形で改稿されたため、オリジナルの原稿が失われ、今日に至っているわけである。

（※詳しい比較解説については、第15巻「鬼太郎特別編 ①」に記載予定）

「鬼太郎夜話」が何通りも存在する謎!?

さて、同じく青林堂『月刊ガロ』に掲載された「鬼太郎夜話」は、完全版での収録は今回がなんと初めての試みである。ガロ連載終了69年4月から数えて32年目にしての完全収録と

なつたわけである。

ガロ版「鬼太郎夜話」は、貸本時代の貸本誌「墓場鬼太郎」第2巻（兎月書房 1960年）の、「墓場鬼太郎夜話」第2話「下宿屋」と同第3巻第3話「会うときはいつも死人」とそれに続く「鬼太郎夜話」全4巻（1960～61年 三洋社刊）のストーリーを合わせたリライト作品である。ただし、「下宿屋」に登場した妖怪・夜叉のかわりに、牛鬼（姿は、おどろおどろ）が登場している。また、ガロ版の後半のストーリーがオリジナルの三洋社版「鬼太郎夜話」第4話「顔の中の敵」のクライマックス部分のかわりに、後の第2期兎月書房版「墓場鬼太郎」第1巻「怪奇一番勝負」（62年）のクライマックス部分のストーリーに置き換えて構成している。この後半の変更は、『別冊少年マガジン』66年春休み特大号に発表した「ゆうれい電車」のストーリーが、「鬼太郎夜話」第4話のクライマックス部分を利用した内容だったため、その重複を避けての判断だったのである。

これまで、ガロ版「鬼太郎夜話」は、多くの単行本に収録されているが、先に記したことくオリジナル完全版を収録しているものは、一冊も存在していないのである。

オリジナルは、『月刊漫画ガロ』に22回に渡って連載され、総ページ数544ページの作品であるが、現在の単行本では、470ページのバージョンが収録されている。単純に見ても、74ページカットされている。実際には、加筆が7ページ、コマを再利用したページが1ページ存在するので、カットされたのは82ページ存在している。その内、特に連載第1回～第3回ま

での冒頭部分96ページが、43ページに短縮されている。なんと、冒頭部分の約半分がカットされたことになる。そこで、話のつじつまを合わせるために、7ページ分が加筆されているのだ。

これまでに、唯一オリジナル版に近い収録をしている単行本は、1969年に発行された旧KC（講談社コミックス）版『ゲゲゲの鬼太郎』第8〜9巻であるが、これも83ページの短縮版である。これは、後に発表された『牛鬼対吸血鬼』との重複を避けての編集の結果なのである。1968年『別冊少年マガジン』秋のおたのしみ特大号に掲載された「牛鬼対吸血鬼」は、ガロ版「鬼太郎夜話」の第2回〜第3回目の原稿をそのまま使用し、それに1ページ加筆して完成させたものである。従って、この「牛鬼対吸血鬼」を同単行本第7巻に収録したことで、同じ原稿を重複させるのを避けるために、大幅にカットされたわけだ。このため、この旧KC版以降に発行された単行本は、さらに重複する部分を大幅にカットして収録しているのだ。

また、「牛鬼対吸血鬼」も朝日ソノラマ社刊のサンコミックス版以降登場する牛鬼の姿が、“おどろおどろ”だったので、「おどろおどろ対吸血鬼」とタイトルが改題され、それと共にこの作品も50ページ中10ページ分を新規に描き直して収録している。

（※第15巻「鬼太郎特別編①」に改稿版「おどろおどろ対吸血鬼」を収録予定）

この作品の詳しい描き直し等については、次頁の比較図録を参照願いたい。

「月刊ガロ」（青林堂）に掲載された「鬼太郎夜話」の扉。
ここから始まる第二回〜第三回に該当する部分が後に「少年マガジン」に
「牛鬼対吸血鬼」として加筆流用して発表された。



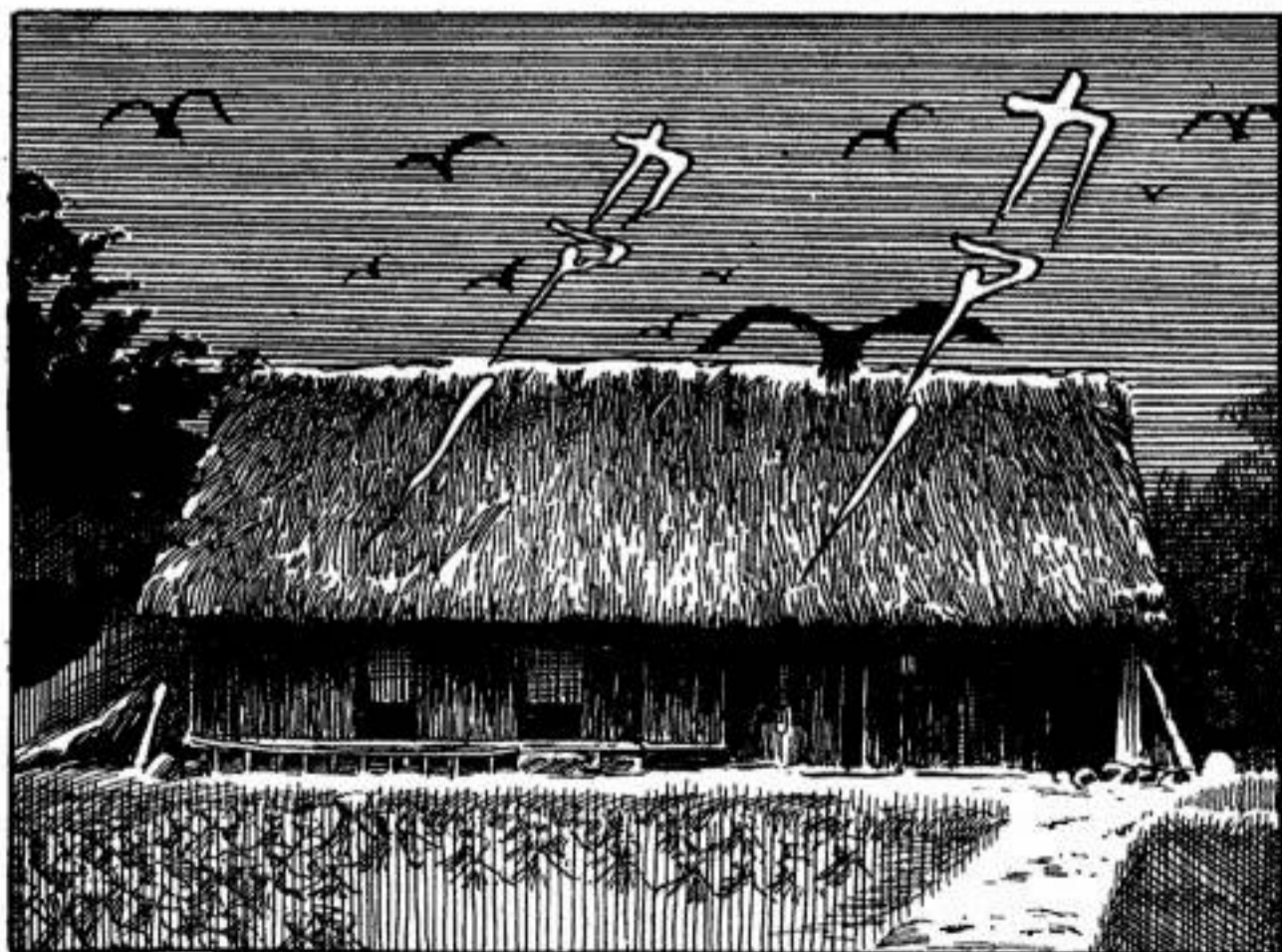
「鬼太郎夜話」（ガロ掲載オリジナル版）



「おどろおどろ対吸血鬼」

「牛鬼対吸血鬼」に描かれている「牛鬼」という妖怪の姿は、「おどろおどろ」だったため、その後「おどろおどろ対吸血鬼」にタイトルが改題された。その時同時に50ページ中10ページ分が新規に描き直して収録された。その改稿部分を比較してみよう！

牛鬼が登場。「牛鬼」は単行本によって、「ぎゆうぎ」と「うしおに」二通りのフリガナがふってある。



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)

よく見てみると、鬼太郎の顔など全画面に渡って描き直されているのがわかる。



「おどろおどろ対吸血鬼」

吸血鬼登場。



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)

最後のコマの家の角度や、吸血鬼の表情の感じなどやはり微妙に違っている。



「おどろおどろ対吸血鬼」



吸血鬼はカタカナでずっと話している。しかし、ガロに掲載されたオリジナル版では、平仮名で話している場面が混在している。写植のミスと思われる、単行本収録時には修正されている。

「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)

このページも並べてみると描き直されていることが見てとれる。ところで、
なんだか貧相な食生活の吸血鬼であった。



「おどろおどろ対吸血鬼」

金野梨太が登場。
水木しげる翁にも似ているようだが……



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)



「おどろおどろ対吸血鬼」



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)

この描き直し版では、最後のコマに説明のネームが追加されている。



「おどろおどろ対吸血鬼」



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)



「おどろおどろ対吸血鬼」



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)



「おどろおどろ対吸血鬼」



「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)



「おどろおどろ対吸血鬼」

ガロ版「鬼太郎夜話」の第二回はこの次のページの次号に続く!となる。



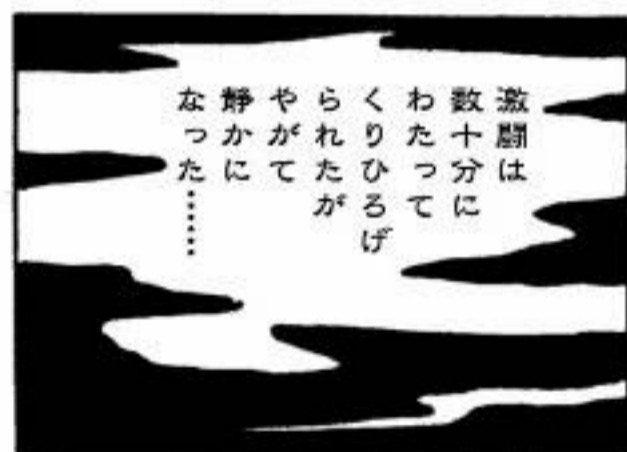
「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)



「おどろおどろ対吸血鬼」



ここは人里はなれた奇妙な
下宿屋、その中では一人の
エサをめぐって時ならぬ激
闘がくりひろげられてい
た………
千年のねむりからさめた
牛鬼と腹をすかした吸血
鬼の対決だった!!



激闘は
数十分に
わたって
くりひろげ
られたが
やがて
静かに
なった……



いったい
どちらが
勝った
んだ

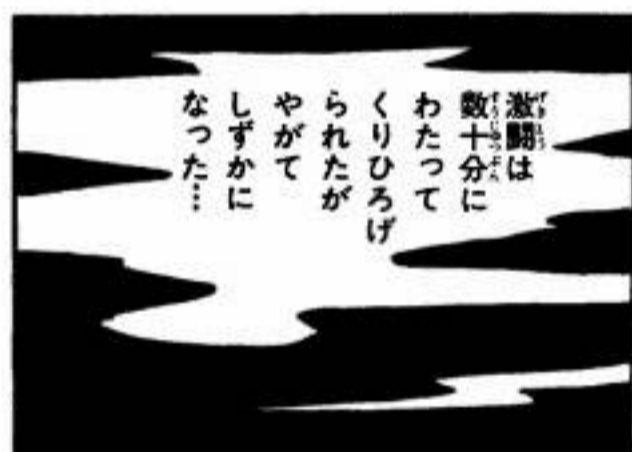


そこには二人の
せつれあつた
丸い玉が一個
あるだけ
だった

ガロ版「鬼太郎夜話」の第三回目の1ページ目。「おどろおどろ対吸血鬼」と全く同じ原稿が使用されているのはこのページまでで、この後「鬼太郎夜話」はこの第一巻を読めばわかるように続いていく。

「鬼太郎夜話」(ガロ掲載オリジナル版)

一方、このページで「おどろおどろ対吸血鬼」は最後から2ページ目となる。



「おどろおどろ対吸血鬼」

これは、雑誌掲載時の「牛鬼対吸血鬼」の最後のページである。雑誌に掲載された時はこのページのみが描き足された。



「牛鬼対吸血鬼」(月刊マガジン版)



「おどろおどろ対吸血鬼」の最後のページ。隣の雑誌掲載時とくらべると原稿が描き直されているのがわかる。

「おどろおどろ対吸血鬼」



さて、ここからは「鬼太郎夜話」が単行本に収録される段階で、描き足されたページを収録する。この第一巻にはガロに掲載された第一回から第五回の原稿が収録されているが、完全に復元しているため、この単行本用の描き足し原稿は収録されていないのだ。

「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿

232ページから238ページの原稿は、第一巻では72ページから128ページのつなぎ目の原稿として描き足された。現在読むことができる「鬼太郎夜話」は全てこの原稿が使用されている。



「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



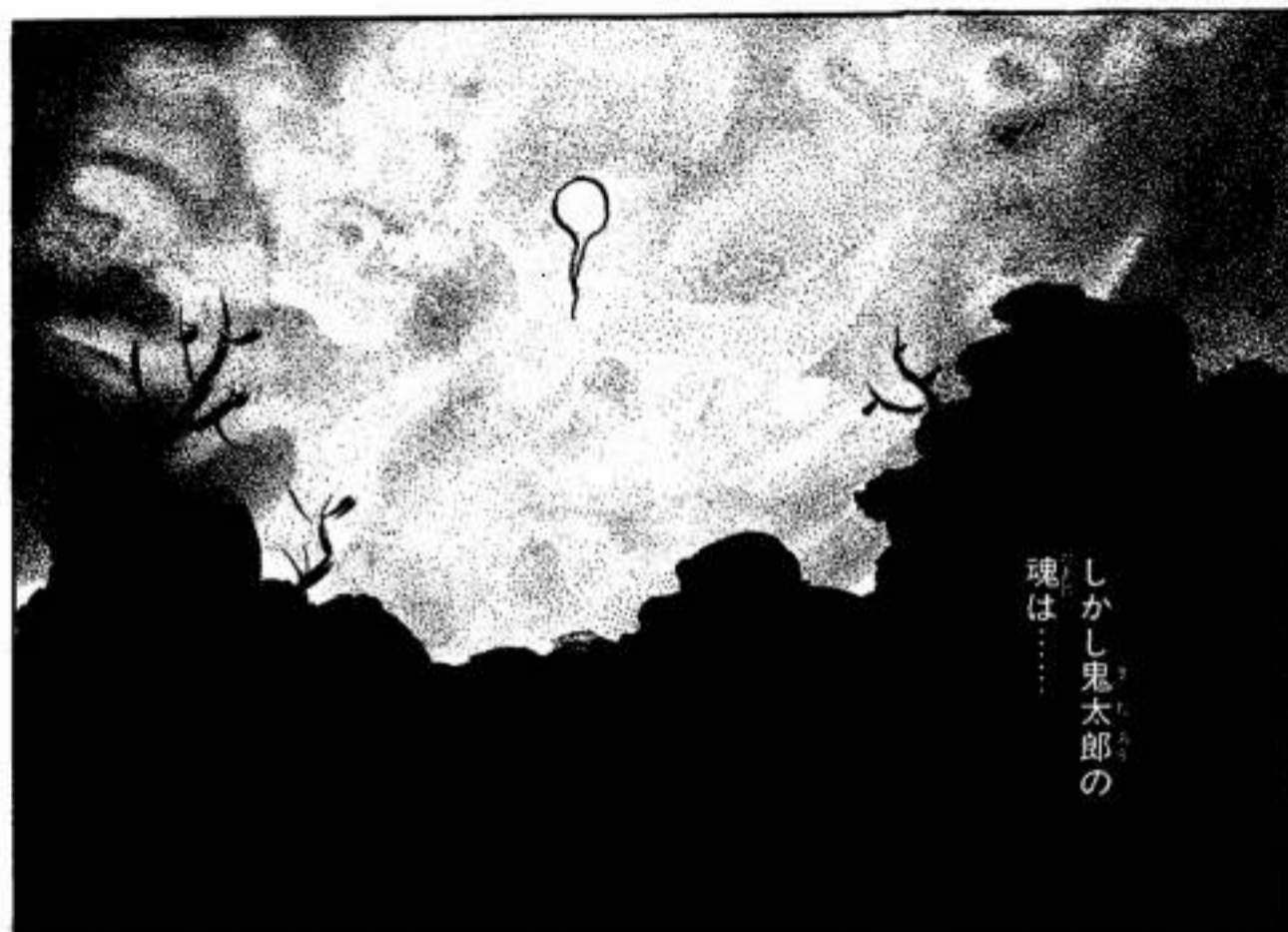
「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



「鬼太郎夜話」最新収録書き直し原稿



初出一覧

墓場の鬼太郎 鬼太郎の誕生…月刊ガク3月号(青林堂)1966年3月1日発行

鬼太郎夜話 第1回…月刊ガク6月号(青林堂)1967年6月1日発行

鬼太郎夜話 第2回…月刊ガク7月号(青林堂)1967年7月1日発行

鬼太郎夜話 第3回…月刊ガク8月号(青林堂)1967年8月1日発行

鬼太郎夜話 第4回…月刊ガク9月号(青林堂)1967年9月1日発行

鬼太郎夜話 第5回…月刊ガク10月号(青林堂)1967年10月1日発行

